事務事業評価シート

 記載年月
 令和6年9月

 対象年度
 令和 5年度

1 事務事業の概要

	_		木の																						_		_	-III- T			
事	務	事	業 名	心身	障害	児・	者余	暇学	習:	支援	賽事	ŧ												-	₽ : 1	務 - -	事	業ド	30	410100).
概			要	知的障	章害のる	ある18	8歳以」	:及び	特別	支援	学校	等の/	生徒を	対象	に、	社会都	数育の	機会	<u></u> ≥≥‡	場を	提供	ţす.	る。								
総·	合	基本	施策	2	生涯に	こわた	る学習	活動の	の推済	進							主	担	当	部	課	名	文化スポーツ	部文	化生	上涯学	習:	課			
計i		施	策	41	41 学習機会の提供と環境づくりの推進									事	4117	業	類		型	任意事業											
		事業	種別	その他	の他の事務事業 事業開始年度 昭和52年度 〜								Ü	見	直	し	の:	裁	量	市に事業見直	しの碁	线量	あり								
根	拠	法:	令 等					-									•					•									
国土	上強軸	韧化地	域計画			交付金	ἐ∙補助	金等の	申請				交付金	金•補郥	助金	等の名称	陈														
対			象	○心身 ○障か	を ない者に	尼・生 成人拳	三徒地域 室 (む		…市 ろ学	内在 級)	住の4	特別:	支援学 害者の	≦校、)ある	盲・ の1	・ろう ⁵ 8歳以 ₋	学校等 上の市	等の有 5内有	E学 E住、	者 、在!	勤、	在	学者								
事	弟	ŧ E	標	保護者	ずやボ	ランラ	・イアを	中心	とし	て地	域との	の交流	流を深	そめ、	学習	引する。	ことを	目的	りと、	する。	D										
事	心身障害児・生徒地域活動は府中地区学校五日制連絡会に委託、あすなろ学級は登録ボランティアを中心に文化・スポーツ・レクリエーション																														

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値				(計画				異
担保石	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		の律			異の			í)	
	402	計画値	350	400	450	500	500			要因	引の判	[型((X)		
① 心身障害児・生徒地域活動 事業の参加者数	402		300	400	450	500	500	1	2	3	4	5	6	7	8
事業の参加者数	人	実 績	550	634	-	-	-	\square							
要因の具体的内容	新型コロナウ	イルスの予防	ちを行い、全18	8回を計画通り	に実施するこ	とができた。									
	698	計画値	500	600	700	800	800			要因	団の類	[型((X)		
② 障がい者成人教室(あすな ろ学級)参加者数			500	600	700	800	800	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実 績	494	678	-	-	ı	\square							
要因の具体的内容	引き続き新型	コロナウイル	vスの感染予防	に努めながら	、計画通りに	実施できたこ	とで、計画を	上回る	る活動	動への	り参加	かぁ	っった	-0	

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	\top
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業	費)						
	当 初 予 算 額	1, 358, 000	1, 289, 000	1, 312, 000	1, 331, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	(
	都 支 出 金	293, 000	432, 000	410,000	410,000	0	(
	市債	0	0	0	0	0	(
	その他	0	0	0	0	0	(
	一般財源	1, 065, 000	857, 000	902, 000	921, 000	0	(
	予 算 現 額	1, 358, 000	1, 289, 000	1, 312, 000	0	0	(
	決 算 額	337, 058	992, 283	1, 097, 808	0	0	(
	国庫支出金	0	0	0	0	0	1
	都支出金	156, 000	432,000	410,000	0	0	
	市債	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	1
	一般財源	181, 058	560, 283	687, 808	0	0	
	執 行 率	24.8%	77.0%	83. 7%	0.0%	0.0%	0.0
人件	-費)						
	職 員 数	1. 12	1.36	1. 10			
	職員人件費	8, 774, 984	10, 993, 865	8, 776, 890			
月	額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月	額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
間接	経費)						
	間接経費	246, 964	276, 425	203, 574			
	総コスト	9, 359, 006	12, 262, 573	10, 078, 272	0	0	(

R 4年度実績(Do)		
11十人人员(20)	R 4年度評価(Ch	leck) 評価内容 B 現状のまま継続
▽障がい者成人教室(あすなろ学級) 13回 ▽心身障害児・生徒地域活動 全18回実施 延べ参加者数550人	新型コロナウイルた。	ス感染症対策を講じながら概ね計画通り実施することができ
L A 重点化・拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ (C 見直し □ D 休」	上・廃止 R 4年度評価に基づく見直し(Action)
R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性	- SOL NOT CALLED A COLOR (MOOTON)
▽障がい者成人教室(あすなろ学級) 15回 ▽心身障害児・生徒地域活動 18回	両事業とも、新型:	・
R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価(Ch	meck) 評価内容 B 現状のまま継続
N 34及天ң (DO) ▽障がい者成人教室(あすなろ学級) 15回		室(あすなろ学級) については、雨天により内容の変更があ
マール を		ナウイルス等の感染症予防に努めつつ、年度当初の活動が予
王10回天旭 延、参加有数004八	▽心身障害児童・ク	こ。 生徒地域活動事業については、新型コロナウイルス等の感染 年度当初の活動が予定どおり実施できた。
□ A 重点化·拡大 □ B 現状のまま継続 □ C		
R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性	
▽障がい者成人教室(あすなろ学級)17回 ▽心身障害児・生徒地域活動 18回	する力やコミュニク ▽心身障害児童・ク	室(あすなろ学級)は、今後も引き続き障害のある方が自立 ケーション能力を養える内容を検討し、取り組んでいく。 生徒地域活動事業は、委託先である府中地区学校五日制連絡 更なる充実を図り、心身に障害のある方にとって有効な活動
	■の場となるよう取	が、
	■の場となるよう取	の組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症拡大以前の 舌動を企画することにより、参加者増を目指す。
R 7年度における事業の位置付け	■の場となるよう取	の組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症拡大以前の 舌動を企画することにより、参加者増を目指す。 事業の位置付けの詳細と今後の方向性
R 7年度における事業の位置付け A 重点化・拡大して継続	■の場となるよう取	の組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症拡大以前の 舌動を企画することにより、参加者増を目指す。 事業の位置付けの詳細と今後の方向性 日常生活を離れた場において、障害のある人とない人の
	■の場となるよう取	の組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症拡大以前の 舌動を企画することにより、参加者増を目指す。 事業の位置付けの詳細と今後の方向性 日常生活を離れた場において、障害のある人とない人の 交流が行われる機会を創設し、障害のある人の社会教育 を受ける権利を具現化した事業である。 事業対象者は、知的障害のある市民等であるが、運営を
A 重点化・拡大して継続	■の場となるよう取	の組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症拡大以前の 舌動を企画することにより、参加者増を目指す。 事業の位置付けの詳細と今後の方向性 日常生活を離れた場において、障害のある人とない人の 交流が行われる機会を創設し、障害のある人の社会教育 を受ける権利を具現化した事業である。 事業対象者は、知的障害のある市民等であるが、運営を 担うボランティアスタッフにとっても、生涯学習や「学 び返し」を実践する機会となっていることから、市民と
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続	の場となるよう取 ような多岐に渡る? 	の組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症拡大以前の 舌動を企画することにより、参加者増を目指す。 事業の位置付けの詳細と今後の方向性 日常生活を離れた場において、障害のある人とない人の 交流が行われる機会を創設し、障害のある人の社会教育 を受ける権利を具現化した事業である。 事業対象者は、知的障害のある市民等であるが、運営を
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載)	の場となるよう取 ような多岐に渡る? 	の組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症拡大以前の 舌動を企画することにより、参加者増を目指す。 事業の位置付けの詳細と今後の方向性 日常生活を離れた場において、障害のある人とない人の 交流が行われる機会を創設し、障害のある人の社会教育 を受ける権利を具現化した事業である。 事業対象者は、知的障害のある市民等であるが、運営を 担うボランティアスタッフにとっても、生涯学習や「学 び返し」を実践する機会となっていることから、市民と
A 重点化・拡大して継続B 現状のまま継続1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載)2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載)	の場となるよう取 ような多岐に渡る? 	の組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症拡大以前の 舌動を企画することにより、参加者増を目指す。 事業の位置付けの詳細と今後の方向性 日常生活を離れた場において、障害のある人とない人の 交流が行われる機会を創設し、障害のある人の社会教育 を受ける権利を具現化した事業である。 事業対象者は、知的障害のある市民等であるが、運営を 担うボランティアスタッフにとっても、生涯学習や「学 び返し」を実践する機会となっていることから、市民と
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)	の場となるよう取 ような多岐に渡る? 	の組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症拡大以前の 舌動を企画することにより、参加者増を目指す。 事業の位置付けの詳細と今後の方向性 日常生活を離れた場において、障害のある人とない人の 交流が行われる機会を創設し、障害のある人の社会教育 を受ける権利を具現化した事業である。 事業対象者は、知的障害のある市民等であるが、運営を 担うボランティアスタッフにとっても、生涯学習や「学 び返し」を実践する機会となっていることから、市民と
A 重点化・拡大して継続B 現状のまま継続1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載)2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載)3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)C 見直して継続1 見直し・縮小	の場となるよう取 ような多岐に渡る? 	の組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症拡大以前の 舌動を企画することにより、参加者増を目指す。 事業の位置付けの詳細と今後の方向性 日常生活を離れた場において、障害のある人とない人の 交流が行われる機会を創設し、障害のある人の社会教育 を受ける権利を具現化した事業である。 事業対象者は、知的障害のある市民等であるが、運営を 担うボランティアスタッフにとっても、生涯学習や「学 び返し」を実践する機会となっていることから、市民と
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載) C 見直して継続 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	の場となるよう取 ような多岐に渡る? 	の組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症拡大以前の 舌動を企画することにより、参加者増を目指す。 事業の位置付けの詳細と今後の方向性 日常生活を離れた場において、障害のある人とない人の 交流が行われる機会を創設し、障害のある人の社会教育 を受ける権利を具現化した事業である。 事業対象者は、知的障害のある市民等であるが、運営を 担うボランティアスタッフにとっても、生涯学習や「学 び返し」を実践する機会となっていることから、市民と
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載) C 見直して継続 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合 D 休止・廃止等 1 休止	の場となるよう取 ような多岐に渡る? 	の組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症拡大以前の 舌動を企画することにより、参加者増を目指す。 事業の位置付けの詳細と今後の方向性 日常生活を離れた場において、障害のある人とない人の 交流が行われる機会を創設し、障害のある人の社会教育 を受ける権利を具現化した事業である。 事業対象者は、知的障害のある市民等であるが、運営を 担うボランティアスタッフにとっても、生涯学習や「学 び返し」を実践する機会となっていることから、市民と

会計 款 項 目 事業 コード		事業	予算事業名	R 54	丰度	R 6年度			
	五司	孙	块	п	コード	了异肀禾仁	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	10	1538000	心身障害児・者余暇学習支援事業費	1, 312, 000	1, 097, 808	1, 331, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						숨 計	1, 312, 000	1, 097, 808	1, 331, 000

事務事業評価シート

 記載年月
 令和6年9月

 対象年度
 令和 5年度

1 事務事業の概要

	•	300 3 1	* V	M 2																											
事	務	事第	業 名	生涯	学習	機会	創出	事業																	事コ	務 -	事 -	業ド	3	04102	00
概			要	生涯学	学習審	議会の	運営、	生涯学	習セ:	ンター	の管理	里運営	(講座	医等の	の実施	含む) 、 (生涯	学習	活動	を担	しう人	材のす	育成	と活	·用					
総	슫	基本	施策	2	生涯	にわた	る学習	活動の	推進							主	担当	当	部課	名	文化	ヒスオ	ポーツ	部	文化	生涯	学習	課			
計		施	策	41	学習	機会の	提供と	環境づ	くりの	つ推進						事	業		類	型	法	定事業	美・任	:意事	事業》	昆在					
		事業	種別	主要な	よ事務	事業		事 業	開	始 年	度	平成	5年度	\sim		見	直し	0 ر	り裁	量	市	こ事業	美の一	一部を	を見画	直す表	支量 d	あり			
根	拠	法(令 等	社会教	放育法	、生涯	学習振	興法、	府中ī	市生涯	学習審	訴議会	条例、	府中	中市生	涯学	習セ	ンタ	-条例	ij											
国	上強軸	靭化地均	或計画	該当あ	50	交付金	È∙補助釒	金等の申	請詢	数当な	し	交付金	∶補助₃	金等の	の名称																
対			象	市民																											
事	業	美 目	標	生涯等。生涯	学習セ 手学習	ンター ボラン	-におい ⁄ティア	ては、 ・生涯	生涯 学習	学習の ファシ	拠点と	として ーター	安定的 ・生涯	りな管 重学習	管理運 習サポ	営及 一タ	び事	業運 の人	i営を .材の	行い. 育成.	、充 及ひ	実し活用	た講座を進る	座に	よっ	て生	涯学	:習の	機会	創出を	:図る
事	。生涯学習審議会では、生涯学習に関連する課題等について審議を行う。 生涯学習審議会では、生涯学習に関連する課題等について審議を行う。 生涯学習センターは、安定的な施設管理で市民の利用を促進し、学習相談や講座企画など学習事業の運営する。民間のノウハウを活かした指定																														

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値						績の		星
担保石	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	回回	の有	無色	と差り	異の	要因	分析	.)	
生活会別センター年間延利	413, 106	計画値	220, 000	300,000	360, 000	420,000	420,000	1	2	要区3	の 数	頁型 (5	※)	7	8
① 生涯学習センター年間延利 用者数	人	実績	309, 287	316, 982	-	-	-		\square						
要因の具体的内容	新型コロナウ	イルス感染症	三の5類移行な	どの影響によ	り、施設を利	用した学習ニ	ーズが回復し	た。							
	54, 729	計画値	40,000	49,000	57, 000	65,000	65, 000			要因	の数	頁型((X)		
②生涯学習センター講座受講 者数	54, 729		40,000	49, 000	57,000	65,000	00,000	1	2	3	4	5	6	7	8
) 者数	人	実 績	45, 718	46, 077	-	-	-								\square
要因の具体的内容	新型コロナウ	イルス感染症	Εの5類移行の	影響や魅力的	な講座内容の	企画等により	、増加につな	がった	÷ o						

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移 (単位:円、人)

• •	・未頁・人件頁等の推						(单位.门、八)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業	費)						
	当 初 予 算 額	351, 722, 000	453, 523, 000	368, 077, 000	290, 516, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	931, 000	1, 107, 000	1, 122, 000	2, 822, 000	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	72, 000, 000	153, 000, 000	50, 000, 000	7, 000, 000	0	0
	一般財源	278, 791, 000	299, 416, 000	316, 955, 000	280, 694, 000	0	0
	予 算 現 額	373, 269, 000	436, 668, 400	386, 090, 600	0	0	0
	決 算額	342, 701, 204	434, 477, 411	378, 956, 361	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	739, 000	763, 000	518, 000	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	43, 000, 000	0	0	0	0
	一般財源	341, 962, 204	390, 714, 411	378, 438, 361	0	0	0
	執 行 率	91.8%	99. 5%	98. 2%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件	費)						
	職 員 数	1. 92	5. 38	5. 01			
	職員人件費	15, 042, 829	43, 475, 739	39, 983, 610			
月	額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月	額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接	経費)						
	間 接 経 費	423, 366	1, 093, 143	927, 401			
	総コスト	358, 167, 399	479, 046, 293	419, 867, 372	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評	価・改善の方針			
R 4年度実績(Do)		R 4年度評価(Ch	neck)	評価内容 B 現状のまま継続
,718人))実施(547講座、4,255回開催、延受講者数45	新型コロナウイルとして多くの講座を	ス感染症の影響 開催し、学習機	からの回復傾向が鮮明となり、前年度と比較 会の創出につなげることができた。
数568人)	区・企画講座、市民企画講座の実施(延受講者			
)	トポーター養成講座の開催(延受講者数 63人 (4. #597/#)			
▽施設管理・修繕等の実施(市8	件、1807年)			
□ A 重点f	L·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見i	直し D 休」	 止•廃止	R 4年度評価に基づく見直し (Action)
R 5年度の具体的な取組 (Pla		R 5年度の方向性		
▽指定管理者による教養講座等の ▽生涯学智ポランティア企画講座 ▽指定管理者による生涯学習ファ ▽指定管理者と市の適切なリスク		がないよう、新指が Tを活用した事業を	定管理者と連携 注展開し、利用者 ては、センター	・一ビスの質の低下や利用者の混乱を招くこと を行いながら事業を進める。即をはじめ、IC 皆数の更なる増加を図る。 の休館を伴うことなく、利用者の安全安心を に修繕を行う。
R 5年度実績 (Do)		R 5年度評価(Ch	neck)	評価内容 B 現状のまま継続
サークル活動を講座に導入し、好また、生涯学習ボランティア「悠にとって身近なテーマの講座を関	群文は、センターを拠点に活動している 計を博した。 学の会」も積極的に講座企画に加わり、市民 引講することができ、多くの集客を上げた。 ボーター養成のため、外部講師を迎え、養成講	親しみやすく利用 極的に活用し、市」 の質の向上に努め、 生涯学習センター、 地区公民館講座、	しやすい施設の 民協働による「 た結果、利用者 定期講座を拡充 ふちゅうカレッ	が変更となったが、新たな指定管理者の下、 運営に努め、生涯学習ファシリテーターを積 学び返し」に取り組むことにより、サービス から一定の評価を得ることができた。また、 したほか、家庭教育学級、文化センターでの ジ出前講座など、市民に身近な学習機会を提 年団体の育成、障害者の生涯学習についても
	L·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見i			R 5年度評価に基づく見直し(Action)
R 6年度の具体的な取組 (Pla ▽指定管理者による教養講座・フ		R 6年度の方向性 理在の指定管理者		年目になるため、初年度に着手した取組を継
▽生涯学習ボランティア企画講座 ▽指定管理者による生涯学習ファ	図の実施 学 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	続・発展させつつ、 用者数の増加と施 施設の管理につい 第一に緊急性のあ	、HPやSNSでの情 設利用満足度の ては、センター るものを優先的 テーターの育成	青報発信を始めとする広報の強化により、利 向上に努める。 ・の休館を伴うことなく、利用者の安全安心を に修繕を行う。 ・や生涯学習サポーターの活用など市民協働の
R 7年度における事業の位置化	付け			けけの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続			きるよう、市的・効果的な	の下で市民にとって魅力的な事業展開がて と指定管理者間で情報の共有を図り、効率 施設の管理運営に努めていく。
	い(右欄に理由を具体的に記載)	R	また、今後の 和6年度に文 ことから、当	が生涯学習センターの在り方については、令 「化・スポーツ配置適正化計画が策定される 「該計画を踏まえつつ、方向性を検討してい
	正が必須(右欄に法令等の名称を記載)	D	< 。	
3 現状では見直しが不可	能(右欄に理由を具体的に記載)			
C 見直して継続	1 見直し・縮小			
	2 他事業との整理・統合			
D 休止・廃止等	1 休止	1		
	2 廃止			
	3 完了			

_	件八字		<i>-</i>						(単位:円)
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	R 5: 当初予算額	年度 決算額	R 6年度 当初予算額
1	01	50	30	05	1506500	生涯学習審議会運営費	1, 205, 000	1, 049, 566	1, 244, 000
2	01	50	30	05	1509000	負担金 東京都市町村社会教育委員連絡協議会	29, 000	28, 500	29, 000
3	01	50	30	10	1522000	公民館事業運営費	3, 039, 000	2, 534, 315	4, 708, 000
4	01	50	30	25	1591590	施設管理運営費 管理運営業務委託料(債務負担行為解消分)	276, 100, 000	276, 100, 000	263, 100, 000
5	01	50	30	25	1591900	生涯学習センター指定管理者候補者選定委員会運営費			168, 000
6	01	50	30	25	1592100	学習活動支援費	19, 000	8, 184	17,000
7	01	50	30	25	1597000	施設管理運営費 諸経費	5, 295, 000	4, 533, 496	12, 450, 000
8	01	50	30	25	1605001	生涯学習センター整備事業費 照明等制御設備改修工事費	0	18, 013, 600	
9	01	50	30	25	1605400	生涯学習センター整備事業費 調査委託料	3, 190, 000	2, 108, 700	
10	01	50	30	25	1605620	生涯学習センター整備事業費 空気調和設備改修工事費	70, 800, 000	67, 760, 000	
11	01	50	30	25	1605640	生涯学習センター整備事業費 照明設備改修工事費	7, 400, 000	6, 820, 000	
12	01	50	30	25	1605650	生涯学習センター整備事業費 環境衛生改善工事費			7, 800, 000
13	01	50	30	25	1606000	生涯学習センター整備事業費 緊急整備工事費	1, 000, 000	0	1, 000, 000
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	368, 077, 000	378, 956, 361	290, 516, 000

1 事務事業の概要

_	•		木ツ																									_	_		_					_
事	務	事 :	業 名	青少	年音	楽	条運	営事	業																			-	事 コ <u>ー</u>	務 一	事	業ド		3041	0300	
概			要	青少年	F音楽	祭の	開催																													
総合	슼	基本	施策	2	生涯	にわれ	たる学	習活	動の	推進									主	担	当	部	課	名	文化	ごスポ	ーツ	部 文	化化	生涯学	学習	課				
計画		施	策	41	学習	機会の	の提供	と環	境づ	くり	の抄	推進							事	1	業	类	頁	型	任意	事業										
		事業	種別	その化	也の事	務事	業	4	事 業	開	始	年	度	昭和	口60年	·度	\sim		見	直	l	の	裁	量	市に	事業	の一	部を	見直	[す裁	量ま	うり				
根	拠	法:	令 等	なし																																
国土	強革	羽化地	域計画	該当な	2 L	交付	金•補具	助金	等の申	訷請	該当	なし	/	交付	∱金•補	助金	金等	の名称	尓																	
対				参加文																																
事	業	ŧ E	標	青少年 情操豊	F音楽 豊かな	団体 青少	が一堂 年の健	に会 建全者	まする す成を	こと:目的	にらと	より、 する。	演	奏技	術の「	句上	:を	目指す	ナとと	: 51	こ音	楽を	通	じた	青少年	年のク	交流の)場と	こな	ること	- `	また	. 7	音楽を	通じて	
事	業	集 内	容	市内で楽界を	で活動と代表	してする	いる青講評者	『少年 ∳によ	三音楽 にる、	到体 演奏	本を え	対象に対する	こ参; る講	加を評を	募り、	合 だき	奏(の部及団体の	みび合 の今後	合唱の	の部舌動	に分の応	け、	. 日 ¹ とす	頃の約 る。	練習の	の成果	是を発	ě表 [*]	する。	ま	た、	演	奏終了	後は計	st.

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値	実績	[の]	评価	(計画	画・実	€績0)差り	異
担保力	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	山岡川	の律	無	上差	異の	要因	分析	f)	
	31	計画値	31	31	31	31	31			要因]の ‡	領型			
①青少年音楽祭参加団体数						01		1	2	3	4	5	6	7	8
	団体	実 績	24	28	-	-	-	\square							
要因の具体的内容	新型コロナウ きた。	イルスへの懸	系念が残ったた	めか、計画と	比較して参加	団体が少なか	ったものの、	事業に	は予算	主どは	さり争	実施す	トるこ	ことが	で
	0.550	計画値	0.000	9, 400	0.000	0.700	9. 700			要因]の数	領型	(X)		
②青少年音楽祭観覧者数	3, 550	山凹凹	2,600	3, 400	3, 600	3, 700	3, 700	1	2	3	4	5	6	7	8
○ 月少午日未宗観見有数	人	実 績	1, 893	2, 675	-	-	-								
要因の具体的内容	出演者数、観	覧者の制限を	:設けずに実施	iし、前年度を	上回る結果と	なった。									

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 🔻	茉賀・人件賀等の雅	יבר.					(単位:円、人)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業							
	当 初 予 算 額	1, 770, 000	2, 011, 000	2, 024, 000	2, 234, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1, 700, 000	0	0
	一 般 財 源	1, 770, 000	2, 011, 000	2, 024, 000	534, 000	0	0
	予 算 現 額	1, 770, 000	2, 011, 000	2, 002, 000	0	0	0
	決 算 額	741	1, 561, 794	1, 778, 687	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	741	1, 561, 794	1, 778, 687	0	0	0
	執 行 率	0.0%	77.7%	88.8%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件							
	職 員 数	0.14	0. 94	0.98			
	職員人件費	1, 096, 873	7, 579, 104	7, 801, 680			
月	額制会計年度任用職員数	0	0	0			
	額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接	経費)						
	間 接 経 費	30, 870	190, 566	180, 955			
	総コスト	1, 128, 484	9, 331, 464	9, 761, 322	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評	価・改善の万針				
R 4年度実績 (Do)		R 4年度評価(C	heck)	評価内容 B	現状のまま継続
8月20日 合奏の部 出演団体 8月21日 合唱の部 出演団体 会場 府中の森芸術劇場どり一む	数16団体、観覧者1,193人 数 8団体、観覧者700人 ホール	┃の向上につながる	イベントを実施す	^ることができ	旨である青少年の交流や技術 た。 行うことができ、実施時間の
<u> </u>					
A 重点化		直し D 休	止·廃止 R	(4年度評価)	に基づく見直し(Action)
R 5年度の具体的な取組 (Pla	n)	R 5年度の方向性			the state of the balls of
8月26日 合奏の部 8月27日 合唱の部 会場 府中の森芸術劇場どり一む	ホール	うなど、適切な時	間での運営を心が 、出演関係者以外	ぶける。	夫して効率的に舞台転換を行 多く参観していただけるよう
R 5年度実績 (Do)		R 5年度評価(C	heck)	評価内容 B	現状のまま継続
8月26日 合奏の部 出演団体 8月27日 合唱の部 出演団体 会場 府中の森芸術劇場どり一む	数19団体、観覧者数1,589人 数 9団体、観覧者数1,086人 ホール		加により、青少年		準に戻りつつある。 技術の向上に資するイベント
□ A 重点化	ン・拡大 🗹 B 現状のまま継続 🗌 C 見	直し □ D 休	止·廃止 R	5年度評価に	基づく見直し(Action)
R 6年度の具体的な取組 (Pla	n)	R 6年度の方向性	± (Plan)		
8月24日 合奏の部 8月25日 合唱の部 会場 学校法人明星学苑 児玉九	十記念講堂	┃場を借用して実施	する。これにより	1、例年より客	ため、学校法人明星学苑に会 席数が減少するため、出演者 奏会の円滑な運営に努める。
		<u> </u>			
R 7年度における事業の位置を	†I†		事業の位置付け	ナの詳細と今	後の方向性
A 重点化・拡大して継続			多くの団体が	が参加しており)、ニーズが高い事業である
B 現状のまま継続			数を一部制限す	よるが、令和'	宿小により出演者数と観覧者 7年度以降は従来どおり、制
1 大幅な見直しは必要な	ハ(右欄に理由を具体的に記載)	B	限を行わずに身	尾施する。	
2 見直しには法令等の改	正が必須(右欄に法令等の名称を記載)	1			
3 現状では見直しが不可能	能(右欄に理由を具体的に記載)				
C 見直して継続	1 見直し・縮小				
	2 他事業との整理・統合	1			
D 休止・廃止等	1 休止	1 1			
	2 廃止	1			
	3 完了				

	情队争		<i>J</i> E		NIE		D [+- r+-	(単位:円)
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	R 55 当初予算額	中度 決算額	R 6年度 当初予算額
1	01	50	30	10	1533000	青少年音楽祭運営費	2, 024, 000	1, 778, 687	2, 234, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	2, 024, 000	1, 778, 687	2, 234, 000

事務事業評価シート

 記載年月
 令和6年9月

 対象年度
 令和 5年度

1 事務事業の概要

	Ŧ	伤手术	5071	<i>M</i> ×																								
事	務	事 業	名	青少	年団	体育	成奨	励事	集													事コ	務 	事 -	業ド	30	410400	O
概			要	青少年	F音楽	団体育	成の奨	励														-						
総・	슴	基本的	策	2	生涯	こわた	る学習	活動の	推進					主	担当	当 部	課	名	文化ス	スポー)	ツ部	文化	生涯生	学習	課			
計i		施	策	41	学習相	幾会の	提供と	環境づ	くりの	の推進				事	業	7	顀	型	任意	事業								
		事業種	₤別	その他	也の事	務事業		事 業	開	始 年	度	昭和40年度	~	見	直し	、の	裁	量	市に専	事業見ī	直しの	の裁量	量あり)				
根	拠	法 令	等	なし																								
国土	強	闭化地域	計画	該当な	しょ	交付金	҈∙補助釒	金等の申	自請 🏗	亥当なし	,	交付金·補助金	き等の名称															
対			象	市内で	で活動	してい	る青少	*年の音	·楽団	体																		
事	業	1	標	団体で	での活	動を通	じて、	豊かな	:情操	と高い	音楽技	支術を身につい	け、青少	年の	健や	かなた	成長)	及び	音楽文	化の向	上を	目指	す。					
事	業	(内	容	いる。 国内で	で開催	される	芸術祭	・コン	/ケー	ル等にる	象加を	動している青ヶ 出演する市内の は、主催者等の	の青少年	音楽	団体に	[校ご	して.	対	象経費	の2分	ትወ 1	の額	(-	限 2	7万	円) 才	を補助す	ナろ

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値	実績							具
担保石	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	凹凹	の有	無	上差	異の	要因	分析	-)	
	6	計画値	6	6	6	6	6			要因	の数	頁型((<u>X</u>)		
① 青少年文化活動事業援助団 体数	0		Ü	Ü	Ü	Ü	0	1	2	3	4	5	6	7	8
体数	団体	実 績	4	5	-	-	-	\square							
要因の具体的内容	新型コロナウ	イルスの影響	響が軽減し、 申	=請が前年度を	上回った。										
		計画値								要因	図の類	[型((X)		
								1	2	3	4	5	6	7	8
		実 績													
要因の具体的内容			-	-		-									

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業**費・人件費等の推移** (単位:円、人)

4 7	・ 業費・人件費等の雅	עדי					(単位:円、人)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業							
	当 初 予 算 額	696, 000	696, 000	600,000	560, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	400,000	0	0
	一般財源	696, 000	696, 000	600, 000	160,000	0	0
	予 算 現 額	696, 000	696, 000	622, 000	0	0	0
	決 算 額	191, 919	447, 956	485, 686	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	191, 919	447, 956	485, 686	0	0	0
	執 行 率	27.6%	64.4%	78. 1%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件							
	職 員 数	0.09	0.22	0.12			
	職員人件費	705, 133	1, 749, 024	975, 210			
月	額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月	額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接	経費)						
	間 接 経 費	19, 845	43, 976	22, 619			
	総コスト	916, 897	2, 240, 956	1, 483, 515	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評	『価・改善の方針			
R 4年度実績(Do)		R 4年度評価(Ch	neck)	評価内容 B 現状のまま継続
(1) 青少年文化活動事業援助 (2) 府中市青少年団体の芸術祭		0		文化活動の発表に係る使用料の一部を援助した 全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一
□ A 重点f	ヒ・拡大 🔽 B 現状のまま継続 🗌 C 見	.直し 🗌 D 休.	止∙廃止	R 4年度評価に基づく見直し (Action)
R 5年度の具体的な取組 (Pla	n)	R 5年度の方向性	ŧ (Plan)	
(1) 青少年文化活動事業援助 (2) 府中市青少年団体の芸術教		0		文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する 全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内
R 5年度実績 (Do)		R 5年度評価(Ch	naak)	■ 評価内容 B 現状のまま継続
(1) 青少年文化活動事業援助	5 団体			┃ 評価内谷 D 現仏のまま極続 文化活動の発表に係る使用料の一部を援助した
	・コンクール等参加補助金 1団体			全国規模の大会へ参加する場合に交通費等の一
□ A 重点	比·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	 直し □ D 休	上・廃止	R 5年度評価に基づく見直し(Action)
R 6年度の具体的な取組 (Pla		R 6年度の方向性		
(1) 青少年文化活動事業援助		(1) 市内で活動	する青少年の文	文化活動の発表に係る使用料の一部を援助する 全国規模の大会へ参加する場合、予算の範囲内
R 7年度における事業の位置	+++		事業の位置の	付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	1 ()		青少年文化活	・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 舌動事業援助及び府中市青少年団体の芸術祭
B 現状のまま継続		_	・コンクールまた、両事業	レ等参加補助金を、引き続き実施する。 業の交付要綱の見直しを適宜行う。
1 大幅な見直しは必要な	い(右欄に理由を具体的に記載)	В		
2 見直しには法令等の改	正が必須(右欄に法令等の名称を記載)			
3 現状では見直しが不可	能(右欄に理由を具体的に記載)			
C 見直して継続	1 見直し・縮小	_		
	2 他事業との整理・統合	1		
D 休止・廃止等	1 休止	1 1		
	3 完了	-		
	0 701			

	ᄼᆚ				事 業	又 笛声 光 力	R 54	年度	R 6年度
	会計	款	項	目	事 業コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	10	1531000	青少年団体育成奨励費	330, 000	350, 686	290, 000
2	01	50	30	10	1548500	補助金 青少年団体大会参加	270, 000	135, 000	270,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	600,000	485, 686	560,000

1 事務事業の概要

事	務	事 業	名	中央	図書館運営	事業								事 務 コー	事 業 ド	30420100
概			要	地域の	方々の情報拠点	ほとして、様	々な図書館サ	ービスを展開す	する。						•	
総	ابار ال	基本的	拖策	2	生涯にわたる学	習活動の推	進			主担当	部 課	名	文化スポーツ部	図書館		
計i		色	策	42	図書館サービス	の充実			1	事 業	類	型	任意事業			
	1	事業種	൝	主要な	よ事務事業	事 業 [開始年度	昭和36年度~	~].	見直し	, の 裁	量	市に事業見直しの)裁量あり		
根	拠	法 令	等	図書館	富法、府中市立図	書館条例、	府中市立図書	館条例施行規則	训、府中市	5立図書館	富資料の!	収集	の関する要綱			
国土	強靭	化地域	計画	該当な	交付金・ 補	助金等の申請	該当なし	交付金·補助金	等の名称							
対			象	全市国	民及び市内在勤・	在学者、相	互利用者(国	分寺・八王子・	・多摩・日	野・町田	日・調布	· 稲	城・国立・小金井	各市民)		
事	業	目	標	より多	多くの方々に中芽	・図書館を活	用していただ	き、読書や情幸	報収集、学	生習等、利	川用者の	様々	な欲求に応えるこ	と。		
事	業	内	容	▽利用 ▽特集 ▽市主 ▽PF	書館資料の選書・ 月者登録及び更・ 長展示の企画・ に任の講者との演えとの にエスト・予約の で対のデジタル で対のデジタル	i等 i営 i学 i字 i字の企画 i整 i選書及び他	・運営			誉理(養書点検	- を含				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移									淫績の:		Ŧ
141余七	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	凹凹	の有	無る	上差	異の	要因	分析)		
	350, 000	計画値	230,000	375, 000	400,000	420,000	420,000			要因	の数	頁型((X)		
① 中央図書館貸出利用者数	350, 000		230, 000	375,000	400,000	420,000	420,000	1	2	3	4	5	6	7	8
○ 〒 八 回自珀貝田門川省	人	実 績	201, 418	283, 021	-	-	-					\square			
要因の具体的内容	令和4年度と しているもの			1したものの、	目標を達成す	ることができ	なかった。 少	〉なか	らず	םב	ナ禍	の余	波等が	影響	IS F
	89. 2	計画値	90	90	90	90	90			要因	図の数	頁型((X)		
②図書館利用者満足度	89. 2		90	90	90	90	90	1	2	3	4	5	6	7	8
② 囚目站刊用省闸尺 及	%	実 績	89. 5	91	-	-	-	\square							
要因の具体的内容	中央図書館の 考えている。	リニューアル	ンオープンに合	わせて特集棚	の増設や座席	申込システム	等の新たなサ	ービフ	スを導	算入し	したこ	ことに	こよる。	もの	٤

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

7	・来質・人忤賀寺の推						(単位:円、人)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業	:費)						
	当 初 予 算 額	16, 548, 000	25, 196, 000	7, 602, 000	6, 037, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	498, 000	786, 000	996, 000	671,000	0	0
	一般財源	16, 050, 000	24, 410, 000	6, 606, 000	5, 366, 000	0	0
	予 算 現 額	16, 531, 000	24, 488, 000	6, 385, 000	0	0	0
	決 算 額	15, 021, 024	22, 961, 009	5, 763, 463	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	844, 241	5, 598, 858	645, 026	0	0	0
	一般財源	14, 176, 783	17, 362, 151	5, 118, 437	0	0	0
	執 行 率	90. 9%	93. 8%	90. 3%	0.0%	0.0%	0.0%
人件	費)						
	職 員 数	7. 60	6. 15	9. 25			
	職員人件費	59, 544, 533	49, 684, 774	73, 805, 667			
月	額制会計年度任用職員数	3. 1	3.5	3. 75			
月	額制会計年度任用職員人件費	10, 070, 945	11, 332, 213	12, 092, 708			
間接	経費)						•
	間 接 経 費	2, 270, 379	619, 112	791, 121			
	総コスト	86, 906, 881	84, 597, 107	92, 452, 958	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評	価・改善の方針			
R 4年度実績 (Do)		R 4年度評価		評価内容 B 現状のまま継続
ため休館 ▽蔵書数 1,041,381冊 ▽全館共通展示 ▽「科学あそび」等の講演会のま ▽中央図書館リニューアルオーフ ▽貴重な地域資料のデジタル化に	。 ご記念イベントの実施 ご向けた権利移転等の実施 ご図書館のサービスに係る点検・評価の下地作	ク着用の励行な ▽令和4年10月 のため休館した ターに臨時窓口 のポストを臨時	ど、新型コロナ原 1日から令和5年 が、令和4年10 を設置した。また に設置し、利用者	ノターへのアクリル板の設置や手指消毒・マス 感染症拡大防止対策に努めた。 年2月28日まで施設の改修及びシステム入替 う月から令和5年1月31日まで、中央文化セン と、令和5年2月は保健センターに資料返却用 皆の不便解消に努めた。 宿リニューアルオープン記念イベントを実施し
□ A 重点f	L·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	・ 直し D 1	木止•廃止	R 4年度評価に基づく見直し(Action)
R 5年度の具体的な取組 (Pla	n)	R 5年度の方向]性 (Plan)	
▽感染症拡大防止対策を講じたサ ▽図書資料の選書や寄贈による収 ▽全館共通展示の実施 ▽市立図書館所蔵の地域資料のラ ▽図書館協議会の実施	2集	館」の周知を行 ▽貴重な地域資 の利用を促進す	うなど、利用者の 料をデジタル化す る。 において、府中市	ープンにあわせて開始した「ふちゅう電子図書 の増加に努める。 けることにより、次世代への継承や閲覧・研究 市立図書館のサービスに係る点検・評価の下地
R 5年度実績 (Do)		R 5年度評価	(Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽全館共通展示 ▽ラグビーワールドカップにあた ▽市立図書館所蔵の地域資料のラ ▽図書館協議会 3回		図った。 ▽リニューアル	オープン時に特集 、利用者が展示賞	放題コンテンツを購入し、さらなる利用拡大を 集棚を増設したことにより企画テーマ展示の実 資料を手に取りやすい環境整備を行ったため、
<u> </u>	と・拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	┃ 直し □ D f	木止・廃止	R 5年度評価に基づく見直し(Action)
R 6年度の具体的な取組 (Pla		R 6年度の方向]性 (Plan)	
<u> </u>	n)	R 6年度の方向 ▽市制施行70周 ることにより ッ で利用を促進す ▽図書館協議会	1性 (Plan) 年や女子野球タウ より多くの方に図 料をデジタル化す る。 において、府中市	R 5年度評価に基づく見直し(Action) ウンに関連した特集展示・イベント等を実施す 図書館に足を運んでいただく。 することにより、次世代への継承や閲覧・研究 市立図書館が実施する各種サービスに対しての 図書館サービスの更なる充実を図る。
R 6年度の具体的な取組 (Pla ▽全館共通展示の実施 ▽市立図書館所蔵の地域資料のラ	n)	R 6年度の方向 ▽市制施行70周 ることにより ッ で利用を促進す ▽図書館協議会	性 (Plan) 年や女子野球タウ より多くの方に図 料をデジタル化する。 る。 において、府中市 くことにより、図	ウンに関連した特集展示・イベント等を実施す 図書館に足を運んでいただく。 けることにより、次世代への継承や閲覧・研究 市立図書館が実施する各種サービスに対しての 図書館サービスの更なる充実を図る。
R 6年度の具体的な取組 (Pla ▽全館共通展示の実施 ▽市立図書館所蔵の地域資料のラ	n) 『ジタル化	R 6年度の方向 ▽市制施行70周 ることにより ッ で利用を促進す ▽図書館協議会	性 (Plan) 年や女子野球タウより多くの方に及料をデジタル化するにおいて、府中市くことにより、区事業の位置	ウンに関連した特集展示・イベント等を実施す 図書館に足を運んでいただく。 けることにより、次世代への継承や閲覧・研究 市立図書館が実施する各種サービスに対しての 図書館サービスの更なる充実を図る。
R 6年度の具体的な取組 (Pla ▽全館共通展示の実施 ▽市立図書館所蔵の地域資料のラ ▽図書館協議会の実施 R 7年度における事業の位置化 A 重点化・拡大して継続	n) 『ジタル化	R 6年度の方向 ▽市制施行70周 ることにより ッ で利用を促進す ▽図書館協議会	性 (Plan) 年や女子の かった	ウンに関連した特集展示・イベント等を実施す 図書館に足を運んでいただく。 けることにより、次世代への継承や閲覧・研究 行立図書館が実施する各種サービスに対しての 図書館サービスの更なる充実を図る。 付けの詳細と今後の方向性 目のリニューアルオープンに合わせ、ふちぬ 館や座席申込システム等の新たなサービスを 手11月に実施した利用者満足度調査では、
R 6年度の具体的な取組 (Pla ▽全館共通展示の実施 ▽市立図書館所蔵の地域資料のラ ▽図書館協議会の実施 R 7年度における事業の位置で A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続	n) 『ジタル化	R 6年度の方向 ▽市制施行70周 ることでは、 ○市制施にない。 ○世別のでは、 では、 の図は、 の図は、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が	性 (Plan) 年 (Plan)	ウンに関連した特集展示・イベント等を実施す 図書館に足を運んでいただく。 けることにより、次世代への継承や閲覧・研究 中立図書館が実施する各種サービスに対しての 図書館サービスの更なる充実を図る。 付けの詳細と今後の方向性 目のリニューアルオープンに合わせ、ふちゅ 館や座席申込システム等の新たなサービスを 手11月に実施した利用者満足度調査では、 子図書館、座席申込システムともに利用らない の、電子図書館を知るに 物半数を占めていた。今後は、電子図書館を図書館の 物半数を占めていた。今後は、電子図書館
R 6年度の具体的な取組 (Pla ▽全館共通展示の実施 ▽市立図書館所蔵の地域資料のラ ▽図書館協議会の実施 R 7年度における事業の位置で A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要な	n)	R 6年度の方向 ▽市制施行70周 ることにより ッ で利用を促進す ▽図書館協議会	性 (Plan) Plan Pl	ウンに関連した特集展示・イベント等を実施す 図書館に足を運んでいただく。 けることにより、次世代への継承や閲覧・研究 行立図書館が実施する各種サービスに対しての 図書館サービスの更なる充実を図る。 付けの詳細と今後の方向性 日のリニューアルオープンに合わせ、ふちみで 手11月に実施した利用者満足度調利日ない 方図書館、座席申込シ電子図書館を担知書館、 をは高かったものの、電子図書館を加まない が半数を占めていた。今後は、記まの とともに、電子書籍の閲覧・貸出しにつなる。 き続き資料の充実や効界のなり PRに努める。
R 6年度の具体的な取組 (Pla ▽全館共通展示の実施 ▽市立図書館所蔵の地域資料のラ ▽図書館協議会の実施 R 7年度における事業の位置で A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要な 2 見直しには法令等の改	n) i ジタル化 i ジタル化 i ・	R 6年度の方向 ▽市制施行70周 ることでは、 ○市制施にない。 ○世別のでは、 では、 の図は、 の図は、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が	性 (Plan) Plan Pl	ウンに関連した特集展示・イベント等を実施す 図書館に足を運んでいただく。 けることにより、次世代への継承や閲覧・研究 けることにより、次世代への継承や閲覧・研究 行立図書館が実施する各種サービスに対しての 図書館サービスの更なる充実を図る。 付けの詳細と今後の方向性 日のリニューアルオープンに合わせ、いての 報告を関係を表した利用を関係を表していた。 日の世席申込シ電子図書館をといる。 日の世席中込シ電子図書館をといる。 日の世界とは、記載の大学を記載していた。 と続き資料の機関である。図書的協議会評している。 と続き資料の機関であるとのとき続きに活動の表とに活動を と続き資料の機関である。 とき続き資料の機関である。 を実施しているを を実施していて変麗していただき。 としていて変麗していただき
R 6年度の具体的な取組 (Pla ▽全館共通展示の実施 ▽市立図書館所蔵の地域資料のラ ▽図書館協議会の実施 R 7年度における事業の位置で A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要な 2 見直しには法令等の改	n) ボジタル化 ボジタル化 かけ い (右欄に理由を具体的に記載) 正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	R 6年度の方向 ▽市制施行70周 ることでは、 ○市制施にない。 ○世別のでは、 では、 の図は、 の図は、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が	性 (Plan)	ウンに関連した特集展示・イベント等を実施す 図書館に足を運んでいただく。 けることにより、次世代への継承や閲覧・研究 中立図書館が実施する各種サービスに対しての 図書館サービスの更なる充実を図る。 付けの詳細と今後の方向性 同のリニューアルオープンに合わせ、ふちなを まを関係した利用者満足度調査用と変調を 手11月に実施した利用オテムと書館へがでは、れて をは高かったもいた。 会には、電子実や効果的なPRに奏的なかととも資料の成りとといる。 とき続き資料の機関である図書館協議会にお価を で実施しているを種サービスのに後、評価をで
R 6年度の具体的な取組 (Pla ▽全館共通展示の実施 ▽市立図書館所蔵の地域資料のラ ▽図書館協議会の実施 R 7年度における事業の位置作 A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要な 2 見直しには法令等の改 3 現状では見直しが不可	n) ボジタル化 ボジタル化 か(右欄に理由を具体的に記載) 正が必須(右欄に法令等の名称を記載) 能(右欄に理由を具体的に記載)	R 6年度の方向 ▽市制施行70周 ることでは、 ○市制施にない。 ○世別のでは、 では、 の図は、 の図は、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が	性 (Plan)	ウンに関連した特集展示・イベント等を実施す 図書館に足を運んでいただく。 けることにより、次世代への継承や閲覧・研究 市立図書館が実施する各種サービスに対しての 図書館サービスの更なる充実を図る。 付けの詳細と今後の方向性 日のリニューアルオンデム利とも設調ででは、一変中に実施中のとシシで表したな明電利に実施を関系を関系を関系を図る。 日本を座席中の近に合なせ、一変を調査がある。 日本の変に、一変を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を
R 6年度の具体的な取組 (Pla ▽全館共通展示の実施 ▽市立図書館所蔵の地域資料のラ ▽図書館協議会の実施 R 7年度における事業の位置作 A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要な 2 見直しには法令等の改 3 現状では見直しが不可	n) ボジタル化 がけ い (右欄に理由を具体的に記載) 正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 能 (右欄に理由を具体的に記載) 1 見直し・縮小	R 6年度の方向 ▽市制施行70周 ることでは、 ○市制施にない。 ○世別のでは、 では、 の図は、 の図は、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が	性 (Plan)	ウンに関連した特集展示・イベント等を実施す 図書館に足を運んでいただく。 計ることにより、次世代への継承や閲覧・研究 市立図書館が実施する各種サービスに対しての 図書館サービスの更なる充実を図る。 付けの詳細と今後の方向性 目のリニューアルオープンに合なサービスが 手1 目に、座席中込をしたわせ、一変一個でとも館をで用るとも館をである。 関覧のでは、一変一別では、一変一別では、一変一別では、一変一別では、一変一別では、一変一別では、一変一別では、からなどとと記さいと、一変一段では、おいめとと続きに、一変一段である。とと続きにおいて書籍の別書の点、投りに、大変に入り、とと続きにおいて書籍の書館がある。とと続きにおいて書館の書館がある。とと続きにおいて本の関係各種についただきどん。 で実施していて中図書館サーのに、大りに、大りに、「所図書館サーのと、大りに、大りに、大りに、大りに、大りに、大りに、大りに、大りに、大りに、大りに
R 6年度の具体的な取組 (Pla ▽全館共通展示の実施 ▽市立図書館所蔵の地域資料のラ ▽図書館協議会の実施 R 7年度における事業の位置化 A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要な 2 見直しには法令等の改 3 現状では見直しが不可 C 見直して継続	n) ボジタル化 が (右欄に理由を具体的に記載) 正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 能 (右欄に理由を具体的に記載) 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	R 6年度の方向 ▽市制施行70周 ることでは、 ○市制施にない。 ○世別のでは、 では、 の図は、 の図は、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が、 の図が	性 (Plan)	ウンに関連した特集展示・イベント等を実施す 図書館に足を運んでいただく。 計ることにより、次世代への継承や閲覧・研究 市立図書館が実施する各種サービスに対しての 図書館サービスの更なる充実を図る。 付けの詳細と今後の方向性 目のリニューアルオープンに合なサービスが 手1 目に、座席中込をしたわせ、一変一個でとも館をで用るとも館をである。 関覧のでは、一変一別では、一変一別では、一変一別では、一変一別では、一変一別では、一変一別では、一変一別では、からなどとと記さいと、一変一段では、おいめとと続きに、一変一段である。とと続きにおいて書籍の別書の点、投りに、大変に入り、とと続きにおいて書籍の書館がある。とと続きにおいて書館の書館がある。とと続きにおいて本の関係各種についただきどん。 で実施していて中図書館サーのに、大りに、大りに、「所図書館サーのと、大りに、大りに、大りに、大りに、大りに、大りに、大りに、大りに、大りに、大りに

	16/25				事 業		R 5	年度	R 6年度
	会計	款	項	目	事 業コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	15	1558960	図書館協議会運営費	367, 000	334, 238	371,000
2	01	50	30	15	1560000	中央図書館運営費	6, 200, 000	5, 394, 725	4, 631, 000
3	01	50	30	15	1572000	負担金 日本図書館協会	23, 000	23, 000	23, 000
4	01	50	30	15	1573000	負担金 東京都市町村立図書館長協議会	12, 000	11, 500	12, 000
5	01	50	30	15	1577100	中央図書館整備事業費 緊急整備工事費	1, 000, 000	0	1, 000, 000
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	7, 602, 000	5, 763, 463	6, 037, 000

1 事務事業の概要

事	務	事第	钅名	中央	図書	館複合旅	設整備	等事	業									事コ	務 -	事 業 ド	3	30420200	
概			要	中央図	図書館	の複合施設	整備等事	業費の	債務負担	行為解消	分							-					
総1	ج	基本	施策	2	生涯	こわたる学	習活動の割	推進				主	担	当音	邬 課	名	文化スポーツ部	図書	館				
計i		施	策	42	図書館	館サービスの	の充実					事	当	ŧ	類	型	任意事業						
		事業	種別	その化	也の事	務事業	事 業	開始	年 度	平成19年	₣度 ~	見	直	lσ	り裁	量	市に事業見直し	の裁量	量あり				
根	拠	法令	等	図書館	官法、.	府中市立図	書館条例、	府中	市立図書	館条例施	行規則	-				•							
国土	強靭	9化地均	或計画	該当な	こし	交付金·補助	金等の申	請 該当	当なし	交付金·补	補助金等の名	称											
対			象	府中市	片立中	央図書館																	
事	業	目	標	民間活足・ሰ			率的な施	没運営:	を行うこ	とにより	、利用者に	気持ち	うよく	図書	館を	数多	く利用していたか	だき、	読書の	楽しさ	や学	習意欲を	満
事	業	一内	容	・図書を講座	♪の購 ※・特	館の貸料の 資料の 受料 受 会 展 の 利用 管理	約処理及 理	び他自	・書架整 治体等借	 理 :用本の装	備等												

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値	実績	の	平価	(計画	■・実	€績σ	の差別	異
担保力	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	凹凹	の有	無る	差	異の	要因	分析	ŕ)	
	85	計画値	85	95	105	110	110				の判				
①講座・イベント等開催回数								1	2	3	4	5	6	7	8
	口					-	\square								
要因の具体的内容	的内容 目標を下回ったが、概			きを実施した。											
		計画値	利亚体							要因	団の類	[型	(X)		
		山岡川						1	2	3	4	5	6	7	8
		実 績													
要因の具体的内容		-	-	-		-						. —		_	

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移 (単位:円、人)

	・ 未買・人件買守の作	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業	(書)	N 0∓ <i>I</i> Z	N 171X	N 0∓ <i>I</i> X	N 0+ <i>I</i> X	N 7+1X	N 0 -1 /2
	当初予算額	666, 594, 000	967, 456, 000	662, 243, 000	673, 642, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	201, 500, 000	0	0	0	0
	その他	9, 000, 000	0	0	0	0	0
	一般財源	657, 594, 000	765, 956, 000	662, 243, 000	673, 642, 000	0	(
	予 算 現 額	666, 539, 000	968, 164, 000	665, 075, 000	0	0	C
	決 算 額	666, 533, 224	968, 161, 611	665, 074, 459	0	0	(
	国庫支出金	0	11, 582, 000	0	0	0	(
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	(
	市債	0	177, 300, 000	0	0	0	(
	その他	8, 000, 000	0	0	0	0	(
	一般財源	658, 533, 224	779, 279, 611	665, 074, 459	0	0	(
	執 行 率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.09
人件	-費)						
	職員数	3. 50	6. 15	1. 95			
	職員人件費	27, 421, 825	49, 684, 774	15, 559, 032			
月	額制会計年度任用職員数	1	2.5	0.2			
月	額制会計年度任用職員人件費	3, 248, 692	8, 094, 438	644, 944			
間接	経費)						
	間 接 経 費	0	554, 955	130, 839			
	総コスト	697, 203, 741	1, 026, 495, 777	681, 409, 275	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評	価・改善の方針			
R 4年度実績(Do)		R 4年度評価(評価内容 B 現状のまま継続
▽バリアフリー映画会 1回、2 ▽図書館ガイドツアー 4回、 ▽図書館員体験ツアー 4回、2 ▽特集展示 図書 29回/視聴覚	7人 9人	館ガイドツアージ	や特集展示の実施	令和5年2月まで休館だったこともあり、図書 回数、参加人数は減少したが、図書館体験ツ 施回数、参加人数ともに増加した。
□ A 重点f	比·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	┃ 直し □ D f	木止·廃止	R 4年度評価に基づく見直し(Action)
R 5年度の具体的な取組 (Pla	n)	R 5年度の方向		
▽各種講習会2回/バリアフリー ▽図書館ガイドツアー 15回/図 ▽図書館美体験ツアー 5回/図書 ▽対集展示 図書 45回/視聴覚 ▽同じ施設に所在する市民会館や	索機案内 40回 書館探検隊 3回	、各種イベントを	を実施する。	新型コロナ感染症拡大防止対策を施しながら 者間のコラボ企画などを実施し、来館者の増
R 5年度実績 (Do)		R 5年度評価(Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽バリアフリー映画会 1回、1 ▽図書館ガイドツアー 10回、2 ▽図書館員体験ツアー 6回、53 ▽特集展示 図書 43回/視聴覚	4人 人	館ガイドツアータ	や特集展示、図書	リニューアルオープンしたことにより、図書館員体験ツアーを通年で実施することができ館者数も休館前の令和3年度の実績を上回っ
□ A 重点f	L·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	I 直し □ D f	木止・廃止 R	R 5年度評価に基づく見直し(Action)
R 6年度の具体的な取組 (Pla	n)	R 6年度の方向	性 (Plan)	
▽各種講習会2回/バリアフリー ▽図書館ガイドツアー 15回/図 ・図書館員体験ツアー 5回/図 ▽特集展示 図書 45回/視聴覚 ▽同じ施設に所在する市民会館ペ	索機案内 40回 計館探検隊 3回	▽複合施設の特値加を図る。	数を活かした事業	者間のコラボ企画などを実施し、来館者の増
D 7			古 类 の 片 罕 /-	+はの芸術も今後の大点性
R 7年度における事業の位置(A 重点化・拡大して継続	ין וך			けいの詳細と今後の方向性 「合施設の特徴を活かした事業者間のコラボ
B 現状のまま継続		-	│企画の実施なりを行うことに	とど、民間活力を活用し、効率的な施設運営 より、利用者に気持ちよく図書館を数多く にき、読書の楽しさや学習意欲を満足・向
	い(右欄に理由を具体的に記載)	В	上させる。	たで、加自ジ末して、丁日心がと間に 同
2 見直しには法令等の改	正が必須(右欄に法令等の名称を記載)			
3 現状では見直しが不可	能(右欄に理由を具体的に記載)			
C 見直して継続	1 見直し・縮小	1		
	2 他事業との整理・統合	1		
D 休止・廃止等	1 休止	1		
	2 廃止	-		
	3 完了			

	1 点 火 手			_	事業	又你去 业力	R 54	丰度	R 6年度
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	15	1575500	中央図書館複合施設維持管理運営等事業費 管理運営業務委託料(債務負担行為解消分)	611, 964, 000	611, 963, 470	620, 531, 000
2	01	50	30	15	1576600	中央図書館複合施設維持管理運営等事業費 施設整備費 (債務負担行為解消分)	50, 279, 000	53, 110, 989	53, 111, 000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	662, 243, 000	665, 074, 459	673, 642, 000

1 事務事業の概要

事	務 🖁	事 業	名	図書	館維	持管理事	業								事務事業 コード 30420300
概			要	図書館	官施設	の清掃及び設	備保守等	を実施する。							•
総合	基	基本於	拖策	2	生涯	にわたる学習	舌動の推進	進		主	担	当	部訓	果 名	文化スポーツ部 図書館
総合計画	可 が	色	策	42	図書	館サービスの	充実			事	4	業	類	型	任意事業
		事業科	重別	その化	也の事	務事業	事業開	見始 年 度	昭和36年度 ~	見	直	し	の表	戈 量	市に事業見直しの裁量あり
根:	処氵	法 令	等	図書館	官法、	府中市立図書	館条例、『	府中市立図書6	館条例施行規則						
国土	強靭·	化地域	計画	該当な	よし	交付金•補助金	等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称						
対			象	図書館	官										
事	業	目	標	施設の	り清掃	、施設設備の	定期的な	検査や保守点	検、機械警備等を行い	、旅	直設の)適 [{]	切な維	詩管	理・利用者の安全確保に努める。
事	業	内	容			館の光熱水費 センター図書		水費・清掃費	・管理費等						

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値	実績の評価(計画・実績の差異の方無は美麗の悪鬼の大無な							星
担保石	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		の有無と差異の要因分析)							
	_	計画値	_	_	_	_				要因	の業	[型((X)		
※数値の比較や推移で評価 ① することがなじまないため								1	2	3	4	5	6	7	8
指標の設定は行わない	-	実 績	-	-	-	-	-								
要因の具体的内容															
		計画値								要因]の業	頁型((X)		
								1	2	3	4	5	6	7	8
		実 績													
要因の具体的内容															

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事	・苿貫・人忤貫等の雅	יבר.					(単位:円、人)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業							
	当 初 予 算 額	36, 697, 000	32, 241, 000	42, 028, 000	41, 413, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	115,000	80,000	169, 000	152, 000	0	0
	一般財源	36, 582, 000	32, 161, 000	41, 859, 000	41, 261, 000	0	0
	予算現額	36, 722, 000	42, 856, 000	42, 028, 000	0	0	0
	決 算額	31, 620, 476	40, 803, 903	35, 444, 546	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	132, 831	582, 961	163, 587	0	0	0
	一般財源	31, 487, 645	40, 220, 942	35, 280, 959	0	0	0
	執 行 率	86.1%	95. 2%	84.3%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件							
	職員数	1.30	1.70	0.60			
	職員人件費	10, 185, 249	13, 734, 003	4, 787, 395			
月	額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月	額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接							
	間接経費	0	109, 066	36, 513			
	総コスト	41, 805, 725	54, 646, 972	40, 268, 454	0	0	0

5	PDCAサ	イクルの確認と評	価・改善の方針			
	l年度実績			R 4年度評価		評価内容 B 現状のまま継続
拡ナ	ト防止対策に	こ努めた。	(毒液の設置など事業者と連携しながら感染症	拡大防止対策に	努めた。	肖毒液の設置など事業者と連携しながら感染症
シガ 央図	寸甲巾職員3 図書館及び9	Eコ・アクションソ 上涯学習センター図	プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中]書館での節電に取り組んだ。	、光熱費の高騰		プランに基づき、利用者の理解を得るとともに は節電に対する意識を徹底させ中央図書館及び 重に取り組んだ
				工姓于自己之》	四目的(小別)	色でもなっか近がた。
	$\langle 1 \rangle$	── □ A 重点付	と・拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見	直し 🗌 D	休止・廃止	R 4年度評価に基づく見直し (Action)
		体的な取組(Pla		R 5年度の方向		
感染	た症拡大防止	L対策に努める。	適切な館内の清掃、消毒及び換気の実施などの協力依頼・利用者への周知	る。		事業者と連携しながら館内の維持管理を実施す プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中
			及び利用者への協力の周知	央図書館及び生	:涯学習センター[ファンに基づさ、利用者の理解を得ながら、中国書館での節電に取り組んでいく。 可能なものがあれば今後も事業者と検討してい
				く。		THE GOAR WAVE A ROTAL CITY IS CL
	年度実績	(,	(主流の乳果など声楽者に事権) なぶと 成為点	R 5年度評価	•	評価内容 B 現状のまま継続
拡ナ	ト防止対策に	こ努めた。	「毒液の設置など事業者と連携しながら感染症プンに基づき、利用者の理解を得ながら、中	拡大防止対策に	努めた。	肖毒液の設置など事業者と連携しながら感染症 プランに基づき、利用者の理解を得るとともに
央区	図書館及び生	主涯学習センター図	書館での節電に取り組んだ。	、光熱費の高騰	もあり、職員に	は節電に対する意識を徹底させ中央図書館及び
	Q	── □ A 重点信	と・拡大 🔽 B 現状のまま継続 🗌 C 見	直し D	休止•廃止	R 5年度評価に基づく見直し (Action)
		ー 体的な取組(Pla	n)	R 6年度の方向	向性 (Plan)	
▽ ₫	中央図書館の	ー 体的な取組(Pla D節電及び事業者へ		R 6年度の方に ▽府中市職員エ 央図書館及び生	可性(Plan) コ・アクション: 涯学習センター[プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中 図書館での節電に取り組んでいく。
▽ ₫	中央図書館の	ー 体的な取組(Pla D節電及び事業者へ	n) - の協力依頼・利用者への周知	R 6年度の方に ▽府中市職員エ 央図書館及び生	可性(Plan) コ・アクション: 涯学習センター[プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中
▽ ₫	中央図書館の	ー 体的な取組(Pla D節電及び事業者へ	n) - の協力依頼・利用者への周知	R 6年度の方向 ▽府中市職員コ 央図書館及び生 ▽契約の見直し	可性(Plan) コ・アクション: 涯学習センター[プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中 図書館での節電に取り組んでいく。
▽ ₫	中央図書館の	ー 体的な取組(Pla D節電及び事業者へ	n) - の協力依頼・利用者への周知	R 6年度の方向 ▽府中市職員コ 央図書館及び生 ▽契約の見直し	可性(Plan) コ・アクション: 涯学習センター[プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中 図書館での節電に取り組んでいく。
▽ ₫	中央図書館の	ー 体的な取組(Pla D節電及び事業者へ	n) - の協力依頼・利用者への周知	R 6年度の方向 ▽府中市職員コ 央図書館及び生 ▽契約の見直し	可性(Plan) コ・アクション: 涯学習センター[プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中 図書館での節電に取り組んでいく。
▽ r ▽ 4	中央図書館 <i>の</i> 上涯学習セン	本的な取組(Pla D節電及び事業者へ ンター図書館の節電	n) - の協力依頼・利用者への周知 i及び利用者への協力の周知	R 6年度の方向 ▽府中市職員コ 央図書館及び生 ▽契約の見直し	対性(Plan) コ・アクション 涯学習センター[について、実施	プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中 図書館での節電に取り組んでいく。 可能なものがあれば今後も事業者と検討してい
▽ q ▽ 4	P央図書館の 上涯学習セン 7年度にお	体的な取組 (Plan) 前電及び事業者へノター図書館の節電	n) - の協力依頼・利用者への周知 i及び利用者への協力の周知	R 6年度の方向 ▽府中市職員コ 央図書館及び生 ▽契約の見直し	河性 (Plan) - コ・アクション: 涯学習センター[について、実施] - 事業の位置 - 第5次府中市	プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中図書館での節電に取り組んでいく。 可能なものがあれば今後も事業者と検討してい があれば今後も事業者と検討してい 付けの詳細と今後の方向性 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で
R 7	P央図書館の 上涯学習セン 7年度にお 重点化・1	本的な取組(Plan) か節電及び事業者へ シター図書館の節電 ける事業の位置で 拡大して継続	n) - の協力依頼・利用者への周知 i及び利用者への協力の周知	R 6年度の方向 ▽府中市職員コ 央図書館及び生 ▽契約の見直し	河性 (Plan) - コ・アクション: 涯学習センター[について、実施] - 事業の位置 - 第5次府中市	プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中図書館での節電に取り組んでいく。 可能なものがあれば今後も事業者と検討してい 付けの詳細と今後の方向性 「職員エコ・アクションプランに基づき、節 しでいく。また、PFI事業者にも取組への
R 7 A B	P央図書館の 上涯学習セン 4年度にお 重点化・ 現状のま	本的な取組 (Plan) が電及び事業者へクター図書館の節電 ける事業の位置で 拡大して継続 ま継続	n) - の協力依頼・利用者への周知 i及び利用者への協力の周知	R 6年度の方爪 ▽府中市職員ュ 央図書館及び生 ▽契約の見直し	河性 (Plan) コ・アクション 涯学習センター について、実施 事業の位置 第5次府中市電に取り組	プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中図書館での節電に取り組んでいく。 可能なものがあれば今後も事業者と検討してい 付けの詳細と今後の方向性 「職員エコ・アクションプランに基づき、節 しでいく。また、PFI事業者にも取組への
R 7 A B	P央図書館の P央図書館の 事件を 事点化・ 現状のま 1 大幅な	本的な取組 (Pla かのででは、 かのでは、 かのでは、 では、 は、 ないのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	n) の協力依頼・利用者への周知 及び利用者への協力の周知	R 6年度の方向 ▽府中市職員コ 央図書館及び生 ▽契約の見直し	河性 (Plan) コ・アクション 涯学習センター について、実施 事業の位置 第5次府中市電に取り組	プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中図書館での節電に取り組んでいく。 可能なものがあれば今後も事業者と検討してい 付けの詳細と今後の方向性 「職員エコ・アクションプランに基づき、節 しでいく。また、PFI事業者にも取組への
R 7 A B	P央図書館の P央図書館の 事性にお 重点化・ 現状のま 1 大幅な 2 見直し	本的な取組 (Pla かかな取組 (Pla か節電及び事業者へ アター図書館の節電 は大して継続 は大して継続 ま継続 ・見直しは必要な には法令等の改	n) の協力依頼・利用者への周知 込及び利用者への協力の周知 オけ	R 6年度の方爪 ▽府中市職員ュ 央図書館及び生 ▽契約の見直し	河性 (Plan) コ・アクション 涯学習センター について、実施 事業の位置 第5次府中市電に取り組	プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中図書館での節電に取り組んでいく。 可能なものがあれば今後も事業者と検討してい 付けの詳細と今後の方向性 「職員エコ・アクションプランに基づき、節 しでいく。また、PFI事業者にも取組への
R 7 A B	P央図書館の P央図書館の 事性にお 重点化・ 現状のま 1 大幅な 2 見直し	本的な取組(Pla かのででは、 かのでは、 かのでは、 は大して継続 は大して継続 は、 は、 は、 は、 には、 は、 は、 には、 は、 には、 は、 には、 に	n) の協力依頼・利用者への周知 込及び利用者への協力の周知 対け い(右欄に理由を具体的に記載) 正が必須(右欄に法令等の名称を記載)	R 6年度の方爪 ▽府中市職員ュ 央図書館及び生 ▽契約の見直し	河性 (Plan) コ・アクション 涯学習センター について、実施 事業の位置 第5次府中市電に取り組	プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中図書館での節電に取り組んでいく。 可能なものがあれば今後も事業者と検討してい 付けの詳細と今後の方向性 「職員エコ・アクションプランに基づき、節 しでいく。また、PFI事業者にも取組への
R 7 A B	P央図書館の P央図書館の 事質にお 重点化・ 現状のま 1 大幅な 2 見直し 3 現状で	本的な取組(Pla かのででは、 かのでは、 かのでは、 は大して継続 は大して継続 は、 は、 は、 は、 には、 は、 は、 には、 は、 には、 は、 には、 に	n) の協力依頼・利用者への周知 i及び利用者への協力の周知	R 6年度の方爪 ▽府中市職員ュ 央図書館及び生 ▽契約の見直し	河性 (Plan) コ・アクション 涯学習センター について、実施 事業の位置 第5次府中市電に取り組	プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中図書館での節電に取り組んでいく。 可能なものがあれば今後も事業者と検討してい 付けの詳細と今後の方向性 「職員エコ・アクションプランに基づき、節 しでいく。また、PFI事業者にも取組への
R 7 A B C	P央図書館の P央図書館の 事質にお 重点化・ 現状のま 1 大幅な 2 見直し 3 現状で	本的な取組(Pla かので取組(Pla かのではまるです。 かのではまるです。 かがままれた。 ないのでは、 ないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はは、 はいいでは、 はいでは、 はいなは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 は	n) の協力依頼・利用者への周知 i及び利用者への協力の周知	R 6年度の方爪 ▽府中市職員ュ 央図書館及び生 ▽契約の見直し	河性 (Plan) コ・アクション 涯学習センター について、実施 事業の位置 第5次府中市電に取り組	プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中図書館での節電に取り組んでいく。 可能なものがあれば今後も事業者と検討してい 付けの詳細と今後の方向性 「職員エコ・アクションプランに基づき、節 しでいく。また、PFI事業者にも取組への
R 7 A B C	P央図書館をとれる 事業を表します 現状 幅な 2 見 状 3 現状で 見 して新り	本的な取組(Pla かので取組(Pla かのではまるです。 かのではまるです。 かがままれた。 ないのでは、 ないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はは、 はいいでは、 はいでは、 はいなは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 は	n) の協力依頼・利用者への周知 i及び利用者への協力の周知	R 6年度の方爪 ▽府中市職員ュ 央図書館及び生 ▽契約の見直し	河性 (Plan) コ・アクション 涯学習センター について、実施 事業の位置 第5次府中市電に取り組	プランに基づき、利用者の理解を得ながら、中図書館での節電に取り組んでいく。 可能なものがあれば今後も事業者と検討してい 付けの詳細と今後の方向性 「職員エコ・アクションプランに基づき、節 しでいく。また、PFI事業者にも取組への

	会計		項	目	事 業 コード	予算事業名	R 54	丰度	R 6年度
	五司	示人	垻	п	コード	了异 尹 未位	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	15	1568000	施設管理費 管理委託料	1, 528, 000	1, 527, 125	1, 528, 000
2	01	50	30	15	1569000	施設管理費 光熱水費及び燃料費	37, 949, 000	31, 901, 695	37, 380, 000
3	01	50	30	15	1571000	施設管理費 諸経費	2, 551, 000	2, 015, 726	2, 505, 000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	42, 028, 000	35, 444, 546	41, 413, 000

1 事務事業の概要

事	務	事業名 地区図書館運営事業											事 務 🖣	事業 ド	30420400
概		要地域の方々の身近な情報拠点として、地域に根ざした図書館サービスを展開する。								-					
総合	41	基本	施策	2	生涯にわたる学習	活動の推進		主	担当	部 部	果名	文化スポーツ部 図	図書館		
計画		施	策	42	図書館サービスの	充実		事	業	類	型	任意事業			
		事業	種別	主要な	事務事業	事業開始年	 度 昭和46年度 ~	見	直し	の表	战 量	市に事業見直しの	裁量あり		
根	拠	法(う 等	図書館	法、府中市立図書	館条例、府中市立	Z図書館条例施行規則、府G	市立	図書館	官資料の	収集	に関する要綱			
国土	強靭	化地均	或計画	該当な	で付金・補助金	金等の申請 該当な	交付金・補助金等の名種	7							
対			象	全市民	及び市内在勤・在	学者、相互利用者	首(国分寺・八王子・多摩	日野	• 町日	日・調布	う・稲	城・国立・小金井名	各市民)		
事	業	目	標	より多	くの方々に地区図	書館を活用してい	いただき、読書や情報収集、	学習	等、禾	削用者⊄)様々	な欲求に応えること	と。		
事	業	内	容	を行う書 ▽図利特リ ▽リ	0	集、利用者への貸	() 、ふるさと府中歴史館及 貸出し・返却、書架整理、肩						2館)を設	置して	おり、その運営

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値	実績の評価(計画・実績の差異 の有無と差異の要因分析)							異
担保石	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	回門								
	310,000	計画値	290, 000	330, 000	345, 000	360,000	360,000			要因	の数	頁型((<u>X</u>)		
① 地区図書館貸出利用者数	310, 000	日四位	290, 000	330, 000	345, 000	300,000	300, 000	1	2	3	4	5	6	7	8
○ 地區區自由負出作///17日 外	人	実 績	308, 171	299, 409	-	-	-					\square			
要因の具体的内容	貸出利用者数	及び図書等貨	資出数が減少し	た。少なから	ずコロナ禍の	余波等が影響	しているもの	と考え	えてい	いる。					
	00.0	計画値	90	90	90	90	00			要因	の数	頁型((X)		
② 図書館利用者満足度	89. 2		90	90	90	90	90	1	2	3	4	5	6	7	8
❷ 囚目印刊用有侧定汉	%	実 績	90. 2	89. 1	-	-	-	\square							
要因の具体的内容	施設管理や職	員の対応につ	いて高い満足	度となった。											

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

7	・来質・人忤賀寺の推						(単位:円、人)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業	:費)						
	当 初 予 算 額	82, 022, 000	86, 229, 000	85, 424, 000	101, 626, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	56, 000	3, 149, 000	145, 000	141,000	0	0
	一般財源	81, 966, 000	83, 080, 000	85, 279, 000	101, 485, 000	0	0
	予 算 現 額	81, 963, 000	85, 697, 000	83, 809, 000	0	0	0
	決 算 額	79, 088, 439	80, 851, 580	82, 986, 330	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	143, 610	3, 159, 790	130, 470	0	0	0
	一般財源	78, 944, 829	77, 691, 790	82, 855, 860	0	0	0
	執 行 率	96. 5%	94. 3%	99.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人件	-費)						
	職 員 数	1.60	1. 20	1. 55			
	職員人件費	12, 535, 691	9, 694, 590	12, 367, 436			
月	額制会計年度任用職員数	11	11	12. 45			
月	額制会計年度任用職員人件費	35, 735, 612	35, 615, 525	40, 147, 789			
間接	経費)						
	間 接 経 費	8, 359	782, 716	851, 980			
-	総コスト	127, 368, 101	126, 944, 411	136, 353, 535	0	0	0

5	PDCAサイ	クルの確認と評	価・改善の方針				
R	4年度実績((Do)		R 4年度評価(C		評価内容 B 現状のまま継続	
\Diamond	地区図書館全 巡回・共通展 地区館単独事	館の蔵書数 524 示 40回 業 14回 参加者 新庁舎移転につい		み所蔵の雑誌や新 ▽各地区図書館に 徹底の励行や館内 対策を講じた。	間を各地区図書 1台ずつ図書消 のパーテーショ	で、中央図書館の休館に伴い、中央図書館 書館に振り分けて閲覧可能とした。 毒機を設置。また、マスク着用・手指消毒 ョンの設置、座席の間引きなど感染症拡大 こついて、引き続き関係課と検討を行った。	手の 防止
	T	————————————————————————————————————		<u> </u>	 止·廃止	 R 4年度評価に基づく見直し(Actio	on)
R	5年度の具体	 k的な取組(Pla		R 5年度の方向性	生(Plan)		
∇	図書資料等の 巡回共通展示 宮町図書館の	止対策を講じたす 選書や寄贈による の実施や地区館員 新庁舎への移転に の所在施設のイク	の収集	トを実施する。 ▽宮町図書館の新	庁舎への移転に	可しながら、おはなし会や季節に応じたイー こついて、引き続き関係課と検討する。 したイベントを実施する。	ベン
R	5年度実績((Do)		R 5年度評価(C	heck)	評価内容 B 現状のまま継続	
	/地区図書館全f /巡回・共通展	館の蔵書数 518 示 45回	, 962冊	▽手指消毒の徹底 した。	を周知しながら	ら、おはなし会や季節に応じたイベントを	実施
∇	地区館単独事	業 17回 参力	D者 2,094人 とついて、関係課との会議を実施した。	▽宮町図書館の新 ▽文化センターの	イベントがコロ	こついて、引き続き関係課と検討を行った。 コナ禍前と同様に実施されたことにより、 ントも前年度より多く実施することができ:	文化
	$\overline{\Box}$		ヒ・拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C §	見直し □ D 休	止・廃止	R 5年度評価に基づく見直し(Action	1)
_		ー k的な取組(Pla	in)	R 6年度の方向性	生 (Plan)		
\Diamond	図書資料等の 巡回・共通展 宮町図書館の 地区図書館の	本的な取組 (Pla 選書や寄贈による 示の実施や地区創 新庁舎への移転に 整備方針を検討	ー かり が収集 自単独事業の実施	R 6年度の方向性 ▽引き続き手指消トを実施する。 ▽宮町図書館の新 ▽地区図書館の整。	生 (Plan) 毒の徹底を周知 庁舎への移転に 備方針について	R 5年度評価に基づく見直し(Action R 5年度評価に基づく見直し(Action R 5年度評価に基づく見直し(Action R 5年度) R 5年度 R 5	ベン
\Diamond	図書資料等の 巡回・共通展 宮町図書館の 地区図書館の	本的な取組 (Pla 選書や寄贈による 示の実施や地区創 新庁舎への移転に 整備方針を検討	n) 5収集 首単独事業の実施 こついての検討	R 6年度の方向性 ▽引き続き手指消トを実施する。 ▽宮町図書館の新 ▽地区図書館の整。	生 (Plan) 毒の徹底を周知 庁舎への移転に 備方針について	ロしながら、おはなし会や季節に応じたイー こついて、引き続き関係課と検討する。 て、図書館協議会の意見を参考に作成を進	ベン
	図書資料等の 巡回・共通展 宮町図書館の 地区図書館の ・ 各地区図書館	本的な取組 (Pla 選書や寄贈による 示の実施や地区創 新庁舎への移転に 整備方針を検討	m) 5 収集 貨単独事業の実施 こついての検討 ベント等と連携したイベントの実施。	R 6年度の方向性 ▽引き続き手指消トを実施する。 ▽宮町図書館の新 ▽地区図書館の整。	集 (Plan) 毒の徹底を周知 庁舎への移転に備方針について ント等と連携し	ロしながら、おはなし会や季節に応じたイー こついて、引き続き関係課と検討する。 て、図書館協議会の意見を参考に作成を進 したイベントを実施する。 付けの詳細と今後の方向性	ベンめる
R A	図書資料等の 巡回・共通展 宮町図書館の 地区図書館の 各地区図書館 7年度におけ 重点化・拡	本的な取組 (Pla 選書や寄贈による 示の実施や地区的 新庁舎への移転に 整備方金を検討へ の所在施設のイイ	m) 5 収集 貨単独事業の実施 こついての検討 ベント等と連携したイベントの実施。	R 6年度の方向性 ▽引き続き手指消トを実施する。 ▽宮町図書館の新 ▽地区図書館の整。	*** (Plan) 毒の徹底を周知 一方舎への移転に 備方針について ント等と連携し 地域の情報り 地域のよ及び系 地域のよ及び系	ロしながら、おはなし会や季節に応じたイースのいて、引き続き関係課と検討する。 て、図書館協議会の意見を参考に作成を進いたイベントを実施する。 けけの詳細と今後の方向性 地点として、地域に根ざした地区図書館 地方ある企画を行うことにより、近隣は 利用者の増加を図る。また、各地区図書	べめを民館が
R A	図書資料等の 巡回・共通展・ 宮町図書館の 地区図書館の 各地区図書館の 各地区図書館の をしている。 をしている。	・的な取組(Pla 選書や寄贈による 示の実施や地区的 新庁舎への移転に 整備方を検討へ の所在施設のイイ	m) 5 収集 自単独事業の実施 こついての検討 ベント等と連携したイベントの実施。	R 6年度の方向性 ▽引き続き手指消トを実施する。 ▽宮町図書館の新▽地区図書館の歌 ▽ 地区図書館の歌	集 (Plan) 毒の徹底を周知 庁舎への移転に 備方針にで ルト等と連携し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ロしながら、おはなし会や季節に応じたイー こついて、引き続き関係課と検討する。 て、図書館協議会の意見を参考に作成を進 したイベントを実施する。 付けの詳細と今後の方向性	べめを民館が
R A	図書資料等の 巡回・共通展・ 宮町図書館の 空町図書館の 各地区図書館の 各地区図書館の で名地区図書館の で名地区図書館の で名地区図書館の で名地区図書館の で名地区図書館の で名地区図書館の で名地区図書館の で名地区図書館の で名地区図書館の で名地区図書館の で名地区図書館の で名地区図書館の でる地区図書館の でる地区図書館の でる地区図書館の でる地区図書館の でる地区図書館の でる地区図書館の でる地区図書館の でる地区図書館の でる地区図書館の でるが、 で	中のな取組(Pla 選書や寄贈による 選書の実施や地を転ぶ 可実施の地を転ぶ 整備方針をを検討 の所在施設のイク	の	R 6年度の方向性 ▽引き続き手指消トを実施する。 ▽宮町図書館の新 ▽地区図書館の整。	集 (Plan) 毒の徹底を周知 庁舎への移転に 備方針にで ルト等と連携し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ロしながら、おはなし会や季節に応じたイニンのいて、引き続き関係課と検討する。 て、図書館協議会の意見を参考に作成を進 したイベントを実施する。 付けの詳細と今後の方向性 地点として、地域に根ざした地区図書館 地力ある企画を行うことにより、近隣住 別用者の増加を図る。また、各地区図書 设の大規模改修等が予定されているため	べめを民館が
R A	図書資料等の 巡回・共通展・ 窓町図書館の 図書館の 名地区図書館 1 大幅な 2 見直しん	中のな取組(Pla 選書や寄贈による 選書の実施や地を転ぶ の実施や地を転ぶ 整備方針を設めてイク を大して継続 を大して継続 と継続 見直しは必要な には法令等の改	の	R 6年度の方向性 ▽引き続き手指消トを実施する。 ▽宮町図書館の新▽地区図書館の歌 ▽ 地区図書館の歌	集 (Plan) 毒の徹底を周知 庁舎への移転に 備方針にで ルト等と連携し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ロしながら、おはなし会や季節に応じたイニンのいて、引き続き関係課と検討する。 て、図書館協議会の意見を参考に作成を進 したイベントを実施する。 付けの詳細と今後の方向性 地点として、地域に根ざした地区図書館 地力ある企画を行うことにより、近隣住 別用者の増加を図る。また、各地区図書 设の大規模改修等が予定されているため	べめを民館が
R A B	図書資料等の ※宮町・共通展・ ※宮町図書館の 第世区図図書館の 第世区図図図書館の 第世区図図図書館の 第世区図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	中のな取組(Pla 選書をお贈による 選書の実施や地を転ぶ 事をできるを検討 の所在施設のイイク を大して継続 を推続 見直しは必要な は法令等の改 は見直しが不可	の	R 6年度の方向性 ▽引き続き手指消トを実施する。 ▽宮町図書館の新▽地区図書館の歌 ▽ 地区図書館の歌	集 (Plan) 毒の徹底を周知 庁舎への移転に 備方針にで ルト等と連携し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ロしながら、おはなし会や季節に応じたイニンのいて、引き続き関係課と検討する。 て、図書館協議会の意見を参考に作成を進 したイベントを実施する。 付けの詳細と今後の方向性 地点として、地域に根ざした地区図書館 地力ある企画を行うことにより、近隣住 別用者の増加を図る。また、各地区図書 设の大規模改修等が予定されているため	べめを民館が
R A B	図書資料等の 巡回・共通展 窓町図書館の 空町図書館の 各地区図書館 電点化・拡 現状のまま 1 大幅な見 2 見直しん	中のな取組(Pla 選書をお贈による 選書の実施や地を転ぶ 事をできるを検討 の所在施設のイイク を大して継続 を推続 見直しは必要な は法令等の改 は見直しが不可	の	R 6年度の方向性 ▽引き続き手指消トを実施する。 ▽宮町図書館の新▽地区図書館の歌 ▽ 地区図書館の歌	集 (Plan) 毒の徹底を周知 庁舎への移転に 備方針にで ルト等と連携し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ロしながら、おはなし会や季節に応じたイニンのいて、引き続き関係課と検討する。 て、図書館協議会の意見を参考に作成を進 したイベントを実施する。 付けの詳細と今後の方向性 地点として、地域に根ざした地区図書館 地力ある企画を行うことにより、近隣住 別用者の増加を図る。また、各地区図書 设の大規模改修等が予定されているため	べめを民館が
R A B	図書資料等の ※宮町・共通展・ ※宮町図書館の 第世区図図書館の 第世区図図図書館の 第世区図図図書館の 第世区図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図図	中のな取組(Pla 選書をおいます。 選書を実施のを検討へのを検討へのを検討へのを検討へのを検討へのを検討へのを検討へのを表記をのが、 する事業の位置した。 は大して継続 にはは必要な はは、今等の改 は、記は、は、ない。 は、は、は、は、ない。 は、は、は、ない。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	(方収集 自単独事業の実施 こついての検討 ジント等と連携したイベントの実施。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	R 6年度の方向性 ▽引き続き手指消トを実施する。 ▽宮町図書館の新▽地区図書館の歌 ▽ 地区図書館の歌	集 (Plan) 毒の徹底を周知 庁舎への移転に 備方針にで ルト等と連携し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ロしながら、おはなし会や季節に応じたイニンのいて、引き続き関係課と検討する。 て、図書館協議会の意見を参考に作成を進 したイベントを実施する。 付けの詳細と今後の方向性 地点として、地域に根ざした地区図書館 地力ある企画を行うことにより、近隣住 別用者の増加を図る。また、各地区図書 设の大規模改修等が予定されているため	べめを民館が
R A B	図書資料等の 図巡宮町図園町 図書館 7年度におけ 重点化・ 現状の まま 1 大幅なり 2 見直しに 3 現状でに 見直して継	中のな取組(Pla 選書をおいます。 選書を実施のを検討へのを検討へのを検討へのを検討へのを検討へのを検討へのを検討へのを表記をのが、 する事業の位置した。 は大して継続 にはは必要な はは、今等の改 は、記は、は、ない。 は、は、は、は、ない。 は、は、は、ない。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	(本欄に理由を具体的に記載) 正が必須(右欄に建由を具体的に記載) 能(右欄に理由を具体的に記載) 正が必須(右欄に法令等の名称を記載) 能(右欄に理由を具体的に記載) 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	R 6年度の方向性 ▽引き続き手指消トを実施する。 ▽宮町図書館の新▽地区図書館の歌 ▽ 地区図書館の歌	集 (Plan) 毒の徹底を周知 庁舎への移転に 備方針にで ルト等と連携し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ロしながら、おはなし会や季節に応じたイニンのいて、引き続き関係課と検討する。 て、図書館協議会の意見を参考に作成を進 したイベントを実施する。 付けの詳細と今後の方向性 地点として、地域に根ざした地区図書館 地力ある企画を行うことにより、近隣住 別用者の増加を図る。また、各地区図書 设の大規模改修等が予定されているため	べめを民館が

	1 一八丁			_	事業	7 m + 44 p	R 5	年度	R 6年度
	会計	款	項	目	事 業コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	15	1561000	地区図書館運営費	85, 424, 000	82, 986, 330	101, 626, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	85, 424, 000	82, 986, 330	101, 626, 000

1 事務事業の概要

事	務 事 ၨ		レファレンスサービス事業	事務事業 30420500
概		要	Tらかの情報あるいは資料を求めている図書館利用者に対して、仲介的立場から、必要な情報あるいは資料 受する。	料を提供ないし提示することにより支
総合	基本	施策	2生涯にわたる学習活動の推進主 担 当 部 課 名文化スポーツ	部 図書館
計画		策	42 図書館サービスの充実 事業類型 任意事業	
	事業	種別	-要な事務事業 事業開始年度 昭和36年度~ 見直しの裁量 市に事業見直	しの裁量あり
根	処 法 3	令 等	图書館法、府中市立図書館条例、府中市立図書館条例施行規則	
国土	強靭化地	域計画	変付金・補助金等の申請 該当なし 交付金・補助金等の名 称	
対		象	全市民及び全利用者	
事	業目	標	川用者の調べたい、学びたいという知的欲求・学習意欲に適切かつ迅速に対応すること。	
事	業内		7カウンター、メール、電話等でのレファレンス(調査相談)の対応 7相談内容の記録及び全職員の共有化 7レファレンスに役立つ講座等の実施 7資料の充実に向け選書等 7行政向け新刊案内の作成・配付及び行政向けレファレンスサービスの実施	

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移			計画値	実績の評価(計画・実績の差異							
担保石	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	回門	の有無と差異の要因分析)							
	4,843	計画値	3, 000	5, 244	5, 344	5, 444	5, 444			要因	引の判	頁型((X)		
① 市の受けるレファレンス件 数	4, 043		3,000	0, 244	0, 344	0, 444	5, 444	1	2	3	4	5	6	7	8
<u>)</u> 数	件	実 績	3, 216	5, 361	-	-	-	\square							
要因の具体的内容	要因の具体的内容 前年度は長期休館のため中央図書館でレファレンスができない時期があったが、今年度は通年で実施し、目標値も上回						上回]った	-0						
		計画値								要因	団の判	頁型((X)		
								1	2	3	4	5	6	7	8
		実 績													
要因の具体的内容			-	-				-							

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

+ 7	・来質・人忤賀寺の推	:19					(単位:円、人)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業	費)						
	当 初 予 算 額	1, 112, 000	1, 312, 000	1, 278, 000	1, 441, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1, 112, 000	1, 312, 000	1, 278, 000	1, 441, 000	0	0
	予 算 現 額	1, 112, 000	1, 312, 000	1, 278, 000	0	0	0
	決 算 額	1, 107, 502	1, 310, 419	1, 206, 731	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1, 107, 502	1, 310, 419	1, 206, 731	0	0	0
	執 行 率	99. 6%	99. 9%	94. 4%	0.0%	0.0%	0.0%
人件	-費)						
	職 員 数	2.80	2. 60	3. 10			
	職員人件費	21, 937, 460	21, 004, 945	24, 734, 872			
月	額制会計年度任用職員数	0.7	0. 5	0.6			
月	額制会計年度任用職員人件費	2, 274, 084	1, 618, 888	1, 934, 833			
間接	経費)						
	間 接 経 費	0	198, 885	225, 165			
	総コスト	25, 319, 046	24, 133, 137	28, 101, 601	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評	価・改善の方針			
R 4年度実績(Do)		R 4年度評価(評価内容 B 現状のまま継続
▽OPACの検索案内 34回 3	人 資料送信サービスの利用者 178人 2人 月までの中央図書館長期休館及び3月のリニュ	5か月間の休館が ▽職場内のレフ	あったものの、 アレンス研修を実	官デジタル資料送信サービス、OPAC検索案内は多くの方にご利用いただいた。 逐にご利用いただいた。 関連し、引き続き実践的な知識の習得に努めた 官のため実施せず。
	ヒ・拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見i		木止・廃止	R 4年度評価に基づく見直し(Action)
R 5年度の具体的な取組(Pla	ın)	R 5年度の方向		() J o p p) (= 7
▽レファレンス講座の実施 ▽データベース利用の促進 ▽職場かでのレファレンス研修の 知識習得 ▽国立国会図書館デジタル化資料 ▽OPAC (利用者用検索端末)		▽職場内のレフ	アレンス研修を実	らための P R を行う。 を施し、引き続き実践的な知識の習得に努める 図書館の利用にもつながるレファレンス講座を
R 5年度実績 (Do)		R 5年度評価((Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽レファレンス講座 1回 29月 ▽職場内でのレファレンス研修の ▽データベースの利用者 延べ8 うち、国立国会図書館デジタル ▽OPAC (利用者用検索端末))実施・都立図書館研修への参加 29人 ン化資料送信サービスの利用者 延べ117人	微増であった。 ▽データがいた。 利用・参加いた ▽職場内のとフ ▽12年12月21日か	及びOPAC検索案内 だいた。 アレンス研修をま ジタル化資料送信 ら開始された個人 や、2023年1月18	大以前のやり方に戻して実施したが、参加者は 内は通常開館に戻ったこともあり、多くの方に 民施し、実践的な知識の習得に努めた。 言サービスの利用者が減少したが、これは、20 、送信サービスによって自宅でも利用できるよ 日から印刷機能が追加されたことが影響して
□ A 重点f	L·拡大 ☑ B 現状のまま継続 □ C 見i	直し Df	木止・廃止	R 5年度評価に基づく見直し (Action)
R 6年度の具体的な取組 (Pla	n)	R 6年度の方向		
▽レファレンス講座の実施 ▽データベース利用の促進 ▽職場内でのレファレンス研修の 知識習得 ▽OPAC(利用者用検索端末)	D実施・都立図書館研修への参加による職員の の検索案内	▽職場内のレフ 職員のレベルア	ァレンス研修を実 ップを図る。	るためのPRを行う。 尾施し、引き続き実践的な知識の習得に努め、 図書館の利用にもつながるレファレンス講座を
D 75 ch L V L 7 = # 0 L W	141		車業の位置	けけの詳細も会後の士白姓
R 7年度における事業の位置化	y (7			付けの詳細と今後の方向性 べたい、学びたいという知的欲求、学習意欲
A 重点化・拡大して継続 			に十分な対応 実や、都立図	いたい、子がたいというがはかれています。 いができるように、職員向け研修の内容の充 図書館等が開催するレファレンス研修への職 こより、職場全体のレベルアップを図る。ま
	い(右欄に理由を具体的に記載)	В	た、市で所蔵	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
2 見直しには法令等の改	正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	2		
3 現状では見直しが不可	能(右欄に理由を具体的に記載)			
C 見直して継続	1 見直し・縮小			
	2 他事業との整理・統合	4		
D 休止・廃止等	1 休止	1		
	2 廃止			
	3 完了			

	情以手	· *	ᆽ						(単位:円)
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	R 55 当初予算額	年度 決算額	R 6年度 当初予算額
1	01	50	30	15	1562000	レファレンスサービス事業費	1, 278, 000	1, 206, 731	1, 441, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						슴 計	1, 278, 000	1, 206, 731	1, 441, 000

1 事務事業の概要

事	務	事 業	名	児童・青少年サービス事業												事 務 事 一	業ド	30420600
概			要	子ども	が本を渠	纟しみ、読	書する力	を身に付けて	、人生をより豊々	かにして	いたた	どくた	こめに	様々	なサービスを実施	iする。	-	
総	수	基本旅	策	2	生涯にわ	たる学習	活動の推済	進			主担	当:	部課	名	文化スポーツ部	図書館		
計i		施	策	42	図書館サ	ービスの	充実				事	業	類	型	任意事業			
		事業種	匑	その他	の事務事	業	事業月	開始 年度	昭和37年度 ~		見直	し(の裁	量	市に事業見直し	の裁量あり		
根	拠	法 令	等	図書館	法、府中	市立図書	館条例、	府中市立図書	館条例施行規則、	子ども	読書活	舌動の	り推進し	に関	する法律			
国土	強革	別化地域	計画	該当な	さし 交付	寸金∙補助₃	金等の申請	該当なし	交付金•補助金等	の名称								
対			象	全市民	及び全利	川用者												
事	業	目	標	赤ちゃ	んから中	・高校生	世代まで	の子どもたち	が、生活のさま	ざまな場	骨で本を	を楽し	しむこ	とが	できるようにする) _o		
事	業	内	容	▽読書 ▽ 読書 ▽ 等、 ▽読み	の楽しされいけ! 児童・青 聞かせの	を伝える としょか か年への かわり方を	んたんけ 推薦図書 紹介した	音を対象にし	BOOKS FOR YOU こハンドブック」	はなし <i>会</i> り」、「 の作成・	う さって 配布	青少年 おき	 Fを対 の本	- 象と 1さ	した「ブックトー :つ 小学生」、	-ク」などの 「読み聞かせ	実施 :に向く	絵本のリスト

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移		計画値	実績の評価(計画・実績の差異								
1日1水1口	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		の有	無	と差.	異の	要因	分析	f)	
	3, 100	計画値	2, 900	3, 700	4, 300	4, 800	4, 800			要团	団の数	型	(X)		
①おはなし会参加人数	5, 100		2, 900	3, 700	4, 500	4, 000	4, 000	1	2	3	4	5	6	7	8
の 初はな ひ云 参加八数	人	実 績	2, 155	2, 802	-	-	-								
要因の具体的内容	新型コロナウ 禍前の人数に 。	イルス感染症 は届かなかっ	E拡大以降、久った。新型コロ	、々に年間を通! ! ナウイルス感	して通常開催 染症を経験し	することがで、 、未だ人が集	き、参加者はまるイベント	前年度などを		り増 遠す.	加したる風流	: もの 明も見)の、 見受け	コロけられ	ナる
	14,000 計画値 13,000 15,000 15,500					10.000	16,000			要团	団の数	쩿	(X)		
②学級貸出冊数	14, 000		13, 000	15, 000	15, 500	16, 000	16,000	1	2	3	4	5	6	7	8
● 丁//以具山Ⅲ 数	₩	実 績	10, 628	12, 618	-	-	-	\square							
要因の具体的内容	新型コロナウた。	イルスが 5 類	ー 頁に移行後、徐	ネに学校行事	が戻ってきて	いることもあ	り、計画値は	下回~	った。	ものの	の、ト	作年度	Eより	増加	IL

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 車業費・人件費等の推移 (単位:円、人)

_ 7	・未頁・人計頁寺の推						(单位. 口、人)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業							
	当 初 予 算 額	610, 000	593, 000	703, 000	3, 338, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	2, 200, 000	0	0
	一般財源	610, 000	593, 000	703, 000	1, 138, 000	0	0
	予 算 現 額	610, 000	593, 000	703, 000	0	0	0
	決 算 額	518, 073	512, 614	621, 121	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	518, 073	512, 614	621, 121	0	0	0
	執 行 率	84.9%	86.4%	88.4%	0.0%	0.0%	0.0%
人件	:費)						
	職 員 数	1.90	2. 10	3.40			
	職員人件費	14, 886, 133	16, 965, 533	27, 128, 569			
月	額制会計年度任用職員数	2. 5	1	1.3			
月	額制会計年度任用職員人件費	8, 121, 730	3, 237, 775	4, 192, 139			
間接	経費)						
	間 接 経 費	0	198, 885	286, 020			
	総コスト	23, 525, 936	20, 914, 807	32, 227, 849	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評	価・改善の方針			
R 4年度実績(Do)		R 4年度評価		評価内容 B 現状のまま継続
▽読み聞かせ講習会の実施 6回	7/学校でのブックトーク等の実施 19回 〗 111人	講座等の会場を	と別に設けるなど、	令和5年2月まで休館だったが、おはなし会や 利用者への影響がより少なくなるよう実施し
▽各年齢向けおすすめ本リストの		▽令和5年3月の 方に参加いたた		ープンに伴い、記念イベントを実施し、多くの
▽YAコーナー、YAルームPF ▽令和5年3月の再開館記念イ~	ミントの実施			
①工作おはなし会 56人(内子 ②親子DEおはなし会 44人 ③図書館なぞときイベント(令	(内子ども22人)			
高学年向け 260人 中高	校生向け 102人			
	L·拡大 🔽 B 現状のまま継続 🗌 C 見	_	休止·廃止	R 4年度評価に基づく見直し (Action)
R 5年度の具体的な取組(Pla	ın)	R 5年度の方[• · · · ·	g =
▽ブックトークよむよむ探検隊 ▽学校職場体験及びボランティア ▽読み聞かせ講習会の実施 ▽図書館おはなりボランティアス ▽各年齢向けおすすめ本リストの		□▽学校職場体験 □▽学校でのブッ	ックトーク等のPI	アの積極的な受入れ
▽YAコーナー、YAルームPF		▽おすすめ本り	リストやYAコー? 子ども読書活動推	
R 5年度実績 (Do)		R 5年度評価	(Check)	■ 評価内容 B 現状のまま継続
▽ブックトークよむよむ探検隊	4回 20人	▽新型コロナウ	ウイルス感染症拡大	大以降、久々におはなし会や講座等を年間を通
▽読み聞かせ講習会の実施 6回	7 / 学校でのブックトーク等の実施 42回 引 116人 ステップアップ講座の実施 8回 375人	▽中学生・高校	交生を中心とした†	が、参加者数はそれほど増加しなかった。 世代へ読書の働き掛けのため、YAルームにお レドカップに併せ、市内トップチームの選手と
▽各年齢向けおすすめ本リストの ▽YAコーナー、YAルームPF)作成・案内			かの、まだYA世代の来館が少ないと感じる。
▽YAルームにおけるラグビーワ 手とのコラボイベントの実施	フールドカップに併せた市内トップチームの選			
▽学校等へアンケート調査を実施 5期府中市子ども読書活動推進計	面し、令和6年度を計画期間の初年度とする第 画を策定			
☑ A 重点f	ヒ・拡大 □ B 現状のまま継続 □ C 見	直し D	休止·廃止	R 5年度評価に基づく見直し (Action)
R 6年度の具体的な取組 (Pla	in)	R 6年度の方[
	ア/学校でのブックトーク等の実施	▽学校職場体験		アの積極的な受入れ
▽読み聞かせ講習会の実施▽図書館おはなしボランティアラ▽各年齢向けおすすめ本リストの			ックトーク等のPI なしボランティア	₹及び実施 ステップアップ講座等によるボランティアのス
▽ Y A コーナー、Y A ルーム P F ▽ T h h 施行 7 0 周年記念 謎解き	スチラシ等の作成、配付		JストやYAコー	t-opp R
		•		
R 7年度における事業の位置化	寸け			付けの詳細と今後の方向性 を楽しみ、読書する力を身に付け、人生をよ
A 重点化・拡大して継続 		-	り豊かに生 基づき各種	きるため、府中市子ども読書活動推進計画に 事業を行い、引き続き、子どもの読書活動の
	い(右欄に理由を具体的に記載)	B	推進を図る。	
2 見直しには法令等の改	正が必須(右欄に法令等の名称を記載)	ע ן		
	能(右欄に理由を具体的に記載)			
C 見直して継続	1 見直し・縮小		\dashv	
	2 他事業との整理・統合	1		
D 休止・廃止等	1 休止	1 1		
	2 廃止	1 -		

3 完了

	会計			目	事 業 コード	予算事業名	R 54	年度	R 6年度
	五司	示人	垻	П	コード	了异 尹 未位	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	15	1559100	子ども読書活動推進計画策定費	116, 000	61, 710	
2	01	50	30	15	1563000	児童・青少年サービス事業費	587, 000	559, 411	3, 338, 000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	703, 000	621, 121	3, 338, 000

1 事務事業の概要

			K 42 1																				市	致	市	芈			\neg
事	務	事業	名	ハン	ディ	キャ	ップサ	ナービ	ス事	業													事コ	務 -	事 -	業 ド	30	420700	
概			要	活字に	こよる	読書や、	印刷	されたも	のを	そのます	き 利月	用するこ	ことが	困難な	方、「	図書館	官への	来館	が固	困難な	方など	へ持	長々な	ナー	ビス	、を実	施する) 。	
総合	<u>ا</u>	基本抗	拖策	2	生涯に	こわたる	5学習活	舌動の推	進						主:	担当	部	課	名	文化ス	パポージ	ツ部	図書	館					
計画	画 7	施	策	42	図書館	官サービ	ごスのす	充実							事	業	類	İ	型	任意事	業								
		事業科	重別	その他	也の事	務事業		事 業	開始	1 年 度	£ ^	~			見	直し	. の	裁	量	市に事	業見正	直し	の裁り	量あり)				
根	拠	法令	ì等	図書館	自法、 月	存中市ゴ	立図書館	館条例、	府中	市立図書	퇔館 多	条例施行	 方規則	、視覚	障害:	者等の)読書	環境	色の生	整備の	推進に	関す	「る法	律					
国土	強靭	化地域	計画	該当な	こし	交付金•	補助金	等の申記	青 該	当なし	交	付金·補	助金等	の名称															
対			象	通常の)図書館	館利用が	が困難	な利用者	Š																				
事	業	目	標	健常者	針だけ`	ではなく	く、高値	齢者や障	管害の	ある方を	と含め	め、す~	べての	利用者	が、「	図書館	首サー	ビス	を	享受で	きるよ	うに	こする	こと	0				
事	業	内	容	▽サー ▽ボラ ▽ディ	-ビス- ランテ ジー	や資料の	DPR D協働 Fの絵	及びスラ 本等の作	ニップ	録音図書			資料の	選定・	購入	• 提供	Ļ												

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値			事業推移		計画値 実績の評価(計画・実績の差異 の有無と差異の要因分析)						Ę			
1日1示1口	(単位)		R 4年度	R 5年度	R 5年度 R 6年度			の有無と差異の要因分析)							
	200	計画値	180	215	230	245	245	要因の類型(※)							
① 宅配回数	200		100	210	230	240	240	1	2	3	4	5	6	7	8
	□	実 績	268	368	-	-	-								
要因の具体的内容	「おとしより	の福祉」に掲	掲載するなどサ	ービスの利用	を促したこと	もあり、実績	値が大きく増	加した							
	5,900	計画値	5, 900	6,000	6, 100	6, 200	6, 200	要因の類型(※)							
②所蔵資料数	5, 900		5, 900	0,000	0, 100	0, 200	0, 200	1	2	3	4	5	6	7	8
○ /// 林貞年195	数	実 績	5, 909	5, 921	-	-	-	\square							
要因の具体的内容	計画には届か	なかったもの	の、予定どお	り資料の購入	を進めた。										

(※)要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

• 7	未賀・人忤賀寺の推	בר:					(単位:円、人)
		R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
事業	費)						
	当 初 予 算 額	1, 080, 000	1, 234, 000	1, 158, 000	1, 082, 000	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1, 080, 000	1, 234, 000	1, 158, 000	1, 082, 000	0	0
	予 算 現 額	1, 080, 000	1, 234, 000	1, 158, 000	0	0	0
	決 算 額	965, 460	1,070,052	1, 078, 285	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	965, 460	1,070,052	1, 078, 285	0	0	0
	執 行 率	89.4%	86.7%	93. 1%	0.0%	0.0%	0.0%
人件	:費)						
	職 員 数	3. 30	2. 10	2. 15			
	職員人件費	25, 854, 863	16, 965, 533	17, 154, 831			
月	額制会計年度任用職員数	0.7	0. 5	0.7			
月	額制会計年度任用職員人件費	2, 274, 084	1, 618, 888	2, 257, 305			
間接	経費)						
	間 接 経 費	0	166, 807	173, 438			
	総コスト	29, 094, 408	19, 821, 279	20, 663, 859	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評	価・改善の方針			
R 4年度実績(Do)		R 4年度評価((Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽対面朗読 204回 ▽録音図書作成 13タイトル ▽宅配 19人、268回・郵送 15 ▽音配・対面朗読ボランティア≹ ▽特集展示の実施	人、9館、貸出資料数 1,001点 &成講座 延べ参加者 73人	▽中央図書館休館 した。 ▽「きずな」での		15年1月末まで対面朗読を教育センターで実施 ぶりに実施した。
□ A 重点f		<u>I</u> 直し □ D 休	・・廃止	R 4年度評価に基づく見直し (Action)
R 5年度の具体的な取組 (Pla	an)	R 5年度の方向性	生 (Plan)	
▽対面朗読の実施 ▽録音図書・布絵本の作成 ▽録音図書・布絵本の作成 ▽宅配貸出・郵送貸出の実施 ▽音訳・対面朗読ボランティアの ▽「きずな」での布絵本・さわる めの講習会」への講師派遣 ▽感染症拡大防止対策を講じた	る絵本の展示、「弱視者・中途視覚障害者のた		合った資料を提供	ように、引き続きPR活動を行うとともに、 はするために選書を行う。 養成に注力する。
R 5年度実績 (Do)		R 5年度評価(0	Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽対面朗読 302回 ▽録音図書作成 9タイトル ▽宅配 28人、368回・郵送 13 ▽音訳・対面朗読ボランティア者 ▽「きずな」での布絵本・さわる ▽「弱視者・中途視覚障害者の方	る絵本の展示	うことができた。	Ŀセンター「きす	ーービスを掲載し、より広くサービス周知を行 "な」で布の絵本、さわる絵本等の展示を行い ことができた。
□ A 重点f	L·拡大 ☑ B 現状のまま継続 ☐ C 見	・ 直し D 休	止•廃止	R 5年度評価に基づく見直し (Action)
R 6年度の具体的な取組 (Pla	an)	R 6年度の方向	性 (Plan)	
▽対面朗読の実施 ▽録音図書・布絵本の作成 ▽宅配貸出・郵送貸出の実施 ▽音記・対面朗読ボランティアの ▽「きずな」での布絵本・さわる めの講習会」への講師派遣	D養成 6絵本の展示、「弱視者・中途視覚障害者のた	利用者ニーズに沿	合った資料を提供	ように、引き続き PR活動を 行うとともに、 はするために選書を行う。 に加え、新規ポランティアの採用および養成
			古巻の仕里	ᆚᄔᇝᅷᅋᆝᄾᄽᇝᆉᄼᄴ
R 7年度における事業の位置	寸け	<u> </u>		寸けの詳細と今後の方向性 自したり、通常の図書館資料では利用が困難
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続			な方に読書を 活字、デイシー 定・購入・携	と楽しんでもらうため、引き続き、点字や大 ジー図書などの録音図書等の図書館資料の選 提供、宅配サービスなどを行う。また、サー
1 大幅な見直しは必要な	い(右欄に理由を具体的に記載)	l B	注力する。	るために、ボランティアの養成に引き続き
2 見直しには法令等の改	正が必須(右欄に法令等の名称を記載)			
3 現状では見直しが不可	能(右欄に理由を具体的に記載)			
•				
C 見直して継続	1 見直し・縮小			
C 見直して継続	 見直し・縮小 他事業との整理・統合 			
C 見直して継続 D 休止・廃止等	32 W	1		
	2 他事業との整理・統合	1		

	会計			П	事 業 コード	圣 笛声 举 夕	R 5年度		R 6年度	
	云訂	汞	垻	Н	コード	予算事業名 	当初予算額	決算額	当初予算額	
1	01	50	30	15	1564000	ハンディキャップサービス事業費	1, 158, 000	1, 078, 285	1, 082, 000	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
						合 計	1, 158, 000	1, 078, 285	1, 082, 000	